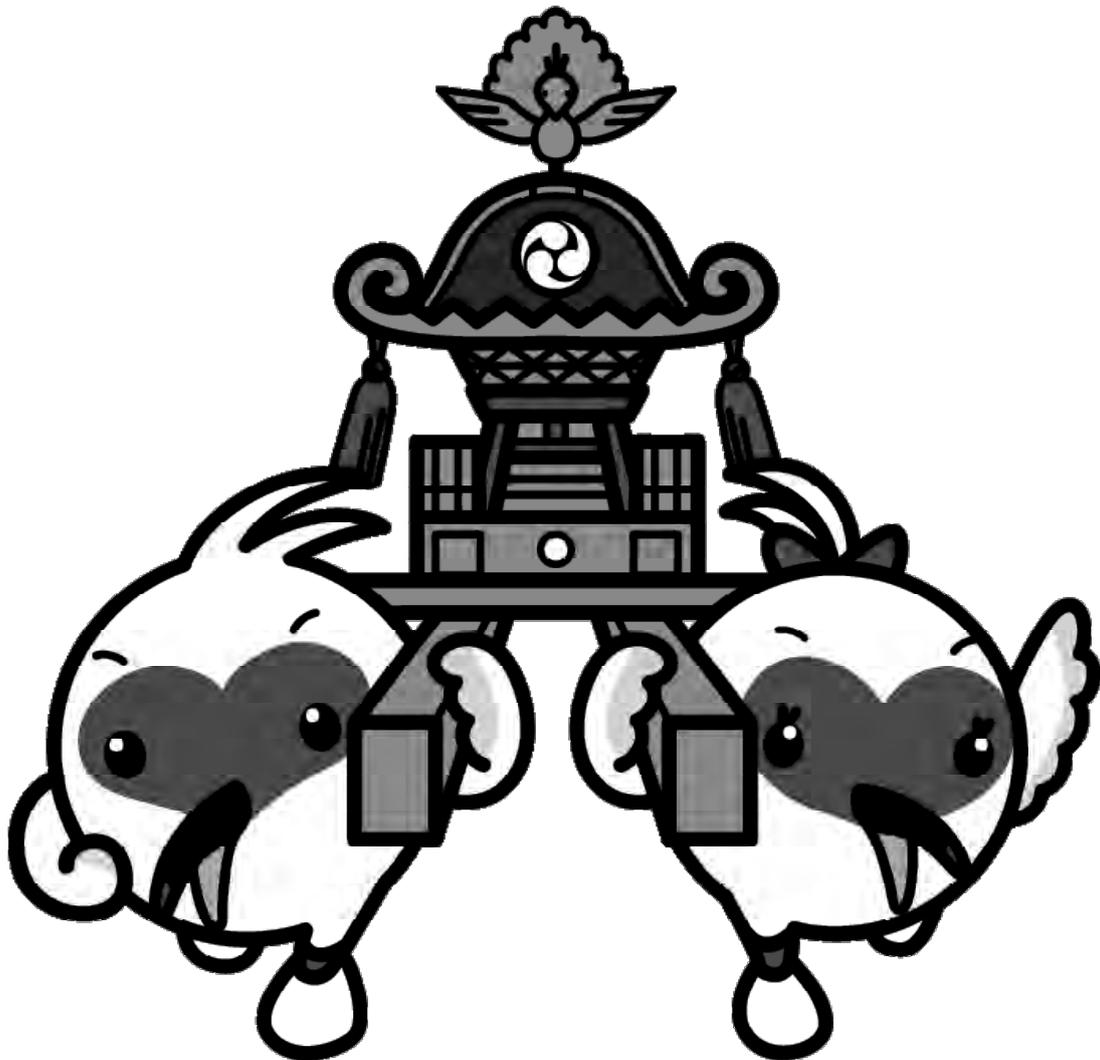


取組事例

2 県関係の事例



平成28年度

読書おたよりコンクール 作品募集

新潟県では、子どもが本に親しみ、進んで読書に取り組む環境づくり「子ども読書応援プロジェクト」に取り組んでいます。このプロジェクトの一環として、「読書おたよりコンクール」を実施し、本を読んで感動した場面・印象に残ったことを絵と文で手紙として表現した「読書おたより」を募集します。

絵本や本を読んで、感動したことや印象に残ったことを、絵と文にかいてください。

伝えたい相手を想定して「読書おたより」にしてみてください。

※伝える相手は、家族や友達、あるいは、本の作者や登場人物など、自由です。

感動を絵と文で伝えてみませんか

募集部門 ▶▶▶

● 園児～小学校3年生

● 中学生以上 ※一般含む

● 小学校 4～6年生

● 親子

〈平成27年度 優秀作品〉



知事賞

木村志帆 木村奈保子
十日町市立田沢小学校

※学校名、応募部門は平成27年
9月応募当時のものです

応募方法

- 各学校や幼稚園を通しての応募か、個人で応募します。
- 作品の裏側（下方）に「応募用紙」を添付します。
- 応募用紙は新潟県生涯学習推進課HPからもダウンロードできます。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/syogaigakushu/>

応募先

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1
新潟県教育庁生涯学習推進課

応募期間

平成28年7月20日(水)～9月9日(金) 必着



最優秀賞 (園児～小学校3年生)

菅野心平 新潟市立五十嵐小学校



最優秀賞

(小学校4～6年生)

岩淵 想
新潟市立
新津第二小学校



最優秀賞

(中学生以上)
樋口あゆ美
小千谷市立
総合支援学校



最優秀賞

(親子)
小林遼斗
小林絵里
南魚沼市立
第一上田小学校

主催 新潟県教育委員会

共催 新潟県小中学校PTA連合会

特別協力 しいが丸 キッズプロジェクト

～学びを楽しみ、学びを生かす みんなで体験～

にいがた

生涯学習県民フォーラム 2016



いきいき県民カレッジ登録講座

平成28年10月28日(金)・29日(土)

会場:新潟県立生涯学習推進センター

(新潟市中央区女池南3-1-2)



講師/

辻井 いつ子さん

(・ピアニスト 辻井 伸行氏の母
・TBSラジオ「今日の風、なに色?」パーソナリティ)

10/28
13:30~15:45

受付・整理券配布 12:30~

1. 開会式

◆いきいき県民カレッジ奨励証(学長賞)表彰式 等

2. 講演会 (にいがた連携公開講座2016)

テーマ/ **明るく、楽しく、
あきらめない
生き方**

申込み/ **申込み不要** 当日会場で整理券配布 (先着順)

定員/ ホール.....150名
大研修室.....100名
(ライブ中継会場)

※手話通訳・要約筆記付き

10/29
10:00~15:00

見て!

**家族で
学ぶ**

・赤ちゃん学講演会
・地震体験車

聞いて!

**学びから
学ぶ**

・成果、実践発表

**体験
してみる**

・チャレンジ、体験
コーナー
・お話の部屋
・手づくりおもちゃ

やってみよう!

主催 ▶新潟県・新潟県教育委員会・
生涯学習県民フォーラム実行委員会
(新潟県生涯学習協会、新潟県公民館連合会、
新潟県社会教育委員連絡協議会、
新潟県子ども会育成連合会、
新潟県小中学校PTA連合会、
新潟県高等学校PTA連合会、
日本ボーイスカウト新潟連盟、
ガールスカウト新潟県連盟、新潟県婦人連盟)

共催 ▶新潟市教育委員会

後援 ▶新潟日報社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、
N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21



地域で子どもの 学びを支えるフォーラム

参加費無料 (どなたでも参加できます)
事前のお申し込みが必要です。定員 (186名)

日時

平成28年9月9日金

●開場 12:45 ●開演 13:15 ●終了予定 16:30

会場

県立生涯学習推進センター
ホール

〒950-8602 新潟市中央区女池南3-1-2
TEL 025-284-6110 FAX 025-284-6019

内容

13:30~14:30 講演

テーマ)「地域の社会力が子どもを育て地域を元気にする」

講師) 筑波大学名誉教授・前茨城県美浦村教育委員会教育長 門脇 厚司 氏

14:45~15:15 パネルによる市町村の活動事例紹介

15:15~16:30 実践事例発表、ディスカッション

発表) 放課後子供教室(長岡市) 土曜学習モデル事業(新発田市)

コーディネーター) 新潟青陵大学看護福祉心理学部准教授 中野 充 氏

趣旨

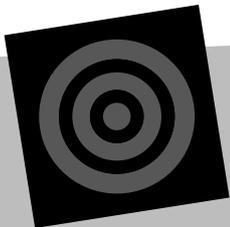
県内各市町村では、子どもたちの教育環境の充実のために、地域の教育力による放課後や土曜日等の学習支援・体験活動の機会創出に取り組んでいます。学識経験者による講演と実践発表、ディスカッションを通して、学校・家庭・地域が連携して社会全体で子どもを大きく育てよう、多くの皆様の御参加をお待ちしています。



門脇 厚司 氏

○主催 新潟県教育委員会





絵本作家

サトシンさん

おはなし会

新潟県教育委員会



7月 3日(日) 妙高市

8月27日(土) 胎内市

8月28日(日) 長岡市



テーマ 「お話で寄り添う、心と心」

新潟県では、子どもの自主的な読書活動が推進されるよう、読書に親しむ機会や情報の提供を通じて子どもが読書に親しむ環境づくりに取り組んでいます。

今年度は、「子ども読書オープンカレッジ2016」として、様々な視点から子ども読書の大切さや、絵本や本の魅力をより深く学べる講座を実施しています。

この講座の一環で「出前講座」として、絵本作家 サトシンさんの「おはなし会」を、県内3会場で開催いたします。

【プロフィール】

本名 佐藤伸（さとう しん）。1962年新潟県出身。

広告制作プロダクション勤務、専業主夫、フリーのコピーライターを経て絵本作家に。

作家活動の傍ら、コミュニケーション遊び「おてて絵本」（NHK教育テレビ「みいつけた!」で「おててえほん」としてレギュラー放送中）を発案、普及活動に力を入れている。

絵本の主な作品に「うんこ!」（サトシン・作 西村敏雄・絵／文溪堂）、「みどくんとあかくん」（サトシン・作 ドーリー・絵／えほんの杜）などがある。その他著書として「おてて絵本入門」（小学館）、「きいてね!おてて絵本」（扶桑社）等がある。

「うんこ!」で第1回リプロ絵本大賞他、「わたしはあかねこ」（サトシン・作 西村敏雄・絵／文溪堂）で第6回ようちえん絵本大賞受賞など、数々の賞を受賞している。

大垣女子短期大学客員教授。



いきいき県民カレッジ登録講座



演題 「物語と子ども」

～子どもの心を育てるもの～

講師 県立大学講師 **錦 恵美子** 氏

平成28年6月11日（土）

13:30～15:15（開場 13:00）

新潟県立図書館 ホール

（県生涯学習推進センター）

錦 恵美子 氏

新潟県立大学・新潟中央短期大学 非常勤講師
1979年から、当時在住していた秋田市で家庭文庫活
動を展開。秋田県児童福祉課主催の「マザーズタッチ」
（絵本普及活動）の選考委員を務めた。

17年前から新潟市に在住し、新潟県を中心に学生、
保育士、保護者などを対象とした絵本講座の講師として
活躍中。



子どもたちにどんな絵本を選ぶとよ
いか、悩むことはないですか？

子どもの心を育てる絵本とは何かを
学んでみませんか。

大人の皆さんも、講師の読み聞かせ
を体験してみたいはいかがでしょうか。

子ども読書オープンカレッジ 2016

子ども読書の取組を活発にするため、講師に、絵本作家や児童文学の第一線で活躍する
専門家を招き、年間を通して開催する講座として、今年スタートします。

誰もが参加しやすく、様々な視点から子ども読書の大切さや、絵本や本の魅力をより深く
学べます。

【参加申込方法】

☆FAX、メール、電話のいずれかで申込をしてください。

☆参加者のお名前と連絡先の電話番号をお知らせください。

☆メールの場合は、件名を「オープンカレッジ申込」としてください。

※県立図書館総合案内カウンターに直接申し込むことも可能です

申込締切 6月10日（金） 17:00

- ・定員 180名。定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ・入場券は発行いたしません。また、申込をお断りする場合のみ、ご連絡させていただきます。
- ・当日は、自由席となっておりますので、時間に余裕をもってお越しください。



子ども読書オープンカレッジ 2016 3回目

講師 児童文学作家 **斎藤 惇夫** 氏

新潟県御出身

演題 「絵本って何だろう」

読み継がれる 良書といわれる本・絵本について 学んでみましょう

平成28年7月9日（土）

13:30～15:15（開場 13:00）

新潟県立図書館 ホール

（県生涯学習推進センター）



斎藤 惇夫氏

児童文学作家

1940年 新潟県新潟市生まれ。

1964年 福音館書店に入社。長年、福音館書店の編集責任者として子どもの本の編集 に携わる。2000年 福音館書店を退職後、作家・評論活動に専念する一方、全国で図書館員、教師、保育者、大学生、一般市民に向け講演活動を続け現在に至る。麗和幼稚園（さいたま市浦和区）にて、毎月1回「絵本大学」を開催。

1970年『グリックの冒険』（岩波書店）で児童文学者協会新人賞、『冒険者たちーガンバと十五ひきの仲間』（岩波書店）で、国際アンデルセン特別優良賞、『ガンバとカワウソの冒険』（岩波書店）で、野間児童文芸賞、IBBYオナーリスト受賞。

エッセイ集『僕の冒険ー子どもの“時”にむかって』（日本エディタースクール出版部）出版。

子ども読書の取組を活発にするため、講師に、絵本作家や児童文学の第一線で活躍する専門家を招き、「子ども読書オープンカレッジ 2016」を年間を通して開催しています。

3回目は、新潟県御出身の 斎藤 惇夫氏をお招きします。作家、編集者の御経験から、「良書」とはどのような本か、絵本の歴史について教えてください。一緒に学びませんか。

【参加申込方法】

☆FAX、メール、電話のいずれかで申込をしてください。

☆参加者のお名前と連絡先の電話番号をお知らせください。

☆メールの場合は、件名を「オープンカレッジ申込」としてください。

※県立図書館総合案内カウンターに直接申し込むことも可能です

申込締切 7月8日（金） 17:00

- ・定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ・入場券は発行いたしません。また、申込をお断りする場合のみ、ご連絡させていただきます。
- ・当日は、自由席となっておりますので、時間に余裕をもってお越しください。





定員70名
参加費
無料

あき びんごさんと 「ことば遊び絵本」をつくろう

大人対象



講師 絵本作家 あき びんご 氏

あき びんご流の「ことば遊び」や絵本づくりの発想の仕方などを学んでみましょう。そして、今回の企画の最大の楽しみは、自分で「絵本の1ページ」をつくることです。

あき先生の絵本づくりのひみつを、受講者の皆さんに教えます。

平成28年8月6日 (土)

13:30～15:30 (開場 13:00)

新潟県立図書館 2階 大研修室

(県生涯学習推進センター)

1948年、広島県尾道市生まれ。

東京藝術大学日本画卒。絵画や染付などの個展活動を行っている。

還暦記念に描きはじめた『したのどうぶつえん』(くもん出版)で第14回日本絵本賞受賞、第25回「よい絵本」選定。

その他、絵本に『したのすいぞくかん』『あいうえおん』『ねこだらけ』『はじめてのずかん』シリーズ全3巻(以上、くもん出版)、『ゆうだち』(第60回産経児童出版文化賞JR賞受賞 偕成社)がある。

2016年3月『30000このすいか』(くもん出版)で、第21回日本絵本賞大賞を受賞。

4月には、東京藝術大学出身の野見山暁治氏、山中現氏と『国語が楽しくなる新美南吉絵童話集(全3巻)』(星の環会)を出版した。



【持ち物】

- ・はさみ(紙用と布用があると便利です)
 - ・のり
 - ・筆記用具
 - ・クレヨンや色鉛筆など色をぬれるもの
- (持っている方だけで結構です)



この絵本の作り方にひみつがあります。わかりますか?



☆FAX、メール、電話のいずれかで申込をしてください。

☆参加者のお名前と連絡先の電話番号をお知らせください。

☆メールの場合は、件名を「オープンカレッジ申込」としてください。

※県立図書館総合案内カウンターに直接申し込むことも可能です。

申込締切 8月4日(木) 17:00

- ・定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ・入場券は発行いたしません。また、申込をお断りする場合のみ、ご連絡させていただきます。

主催：新潟県教育委員会

特別協力：



キッズプロジェクト

子ども読書 レベルアップ 研修会



参加者大募集！

～新潟県子ども読書応援プロジェクト～

新潟県では、子どもが本に親しみ、進んで読書に取り組む環境づくり「子ども読書応援プロジェクト」を推進しています。このプロジェクトの一環として、「子ども読書レベルアップ研修会」を開催し、子どもの読書活動を推進する指導者や読書ボランティアの育成をします。

回・期日・テーマ・講師

第1回

9月12日(月)
いつ、どのような本と出会うか
～中・高校生世代への本の届け方を考える～
＜講師＞ 獨協大学教授 井上 靖代 様

第2回

9月26日(月)
読書の意義について
～それぞれの立場から
子ども読書活動の課題について考える～
＜講師＞ 筑波大学准教授 鈴木 佳苗 様

第3回

10月5日(水)
アニメーションを体験してみよう
＜講師＞ 新潟アニメーション研究会代表 佐藤 清江 様

第4回

10月12日(水)
ブックトークについて
～本の紹介の仕方を学ぼう～
＜講師＞ JPIC 読書アドバイザー 朝日 仁美 様

※時間はいずれの回も 13:00～16:30 です。

※御自分の興味関心のある回を選んで御参加ください。

御案内

■会場 直江津学びの交流館

裏面に案内地図があります。

■対象 どなたでも

子ども読書活動に興味関心のある方なら、どなたでも参加できます。図書館職員、学校司書、読み聞かせサークル、読書ボランティアの方は、ぜひ御参加ください。

■参加費 無料

■参加申込 要事前申込

裏面の申込書を御利用ください。

■申込締め切り

平成28年9月2日(金)

いじめ見逃しゼロ県民運動

主催 新潟県教育委員会

共催 上越市教育委員会 糸魚川市教育委員会 妙高市教育委員会

主管 上越教育事務所社会教育課

お申込み・お問い合わせは下記の電話番号まで御連絡ください

上越教育事務所社会教育課 (担当 湯浅)

☎025-526-9377

社会同和教育市町村巡回研修会の御案内（二次案内）

市民・行政
・関係機関 等

中学校における人権教育、同和教育の授業を参観し、講話を聴いて、同和問題をはじめ、身の回りにある人権問題について、共に理解を深めましょう。多くの皆様の参加をお待ちしております。



1 日時 11月4日（金） 13:15～16:20 * 受付 12:40～13:10

2 会場 妙高市立妙高高原中学校（妙高市大字関川 762 番地）

* 当日は、体育館玄関からお入りください。

3 内容 12:40 13:15 13:35 13:45 14:35 14:45 15:35 15:45 16:20

受付	開会 趣旨説明	移動	授業参観	休憩	講 話	休憩	意見交換等	閉会
----	------------	----	------	----	-----	----	-------	----

- (1) 趣旨説明 本研修会の趣旨を説明します。
- (2) 授業参観 全学級の授業公開（特別支援学級の授業公開はありません。）
- (3) 講 話 新潟産業大学 教授 秋山 正道 様
「歴史の視点から差別問題を考える」
- (4) 意見交換 小グループで授業参観や講話についての意見交換をします。



4 参加 どなたでも参加できます。無料です。

お申込み方法（10月17日締切）

- 次のいずれかの方法でお申し込みください。
- (1) 参加申込用紙を郵送、又はFAXで送信する。
 - (2) 参加申込用紙の内容をメール送信する。
 - (3) 電話で申し込む。

お申込み・お問い合わせ

上越教育事務所 社会教育課
〒943-8551 上越市本城町5-6
TEL 025-526-9377
FAX 025-523-7542
メール fukuho.yusei@pref.niigata.lg.jp

本研修会は、同和問題に対する正しい理解を深め、部落差別の解消に向けて、広く県内各市町村を巡回して行うものです。

広く多くの市民の皆様をはじめ、人権教育に携わる方、PTA関係者、社会教育関係者、公民館関係者、人権擁護委員、民生・児童委員、社会福祉関係者、NPO関係者、小・中・特別支援学校・中等教育学校関係職員、行政関係者等、多くの皆様に御案内を差し上げています。

また、本研修会は、上越地区同和教育研究協議会の活動計画にも位置付けられております。

主催 新潟県教育委員会 **共催** 上越市教育委員会 糸魚川市教育委員会 妙高市教育委員会

参加申込用紙

社会同和教育市町村巡回研修会に参加します。

() 市 氏名 ()
所属 ()

お申し込みは、10月17日までお願いします。

一般の皆様は、所属を記入する必要はございません。

〈同和教育の授業について〉

これまでの本研修会における授業参観では、次のような感想が聞かれました。

- ・「真剣に学ぶ子どもの様子を見て、私も一緒になって考えていました。」
- ・「初めて同和問題を知り、大変勉強になりました。」



〈講話と意見交換について〉

昨年度に引き続き、「歴史的な視点から差別問題を考える」講話です。昨年度は、次のような感想が聞かれました。

- ・「歴史的な視点から考えたことがなかったので、新たな視点を得ることができました。」
- ・「無知であることが、一番の問題であると分かった。いろいろと知ることができてよかった。」

講話の後、会場の皆様で4～5人のグループを作り、思い考えたことを意見交換します。



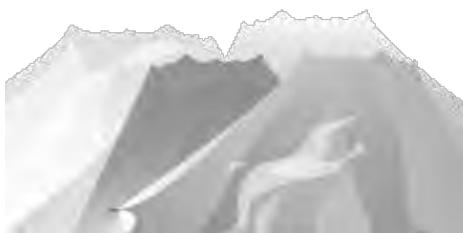
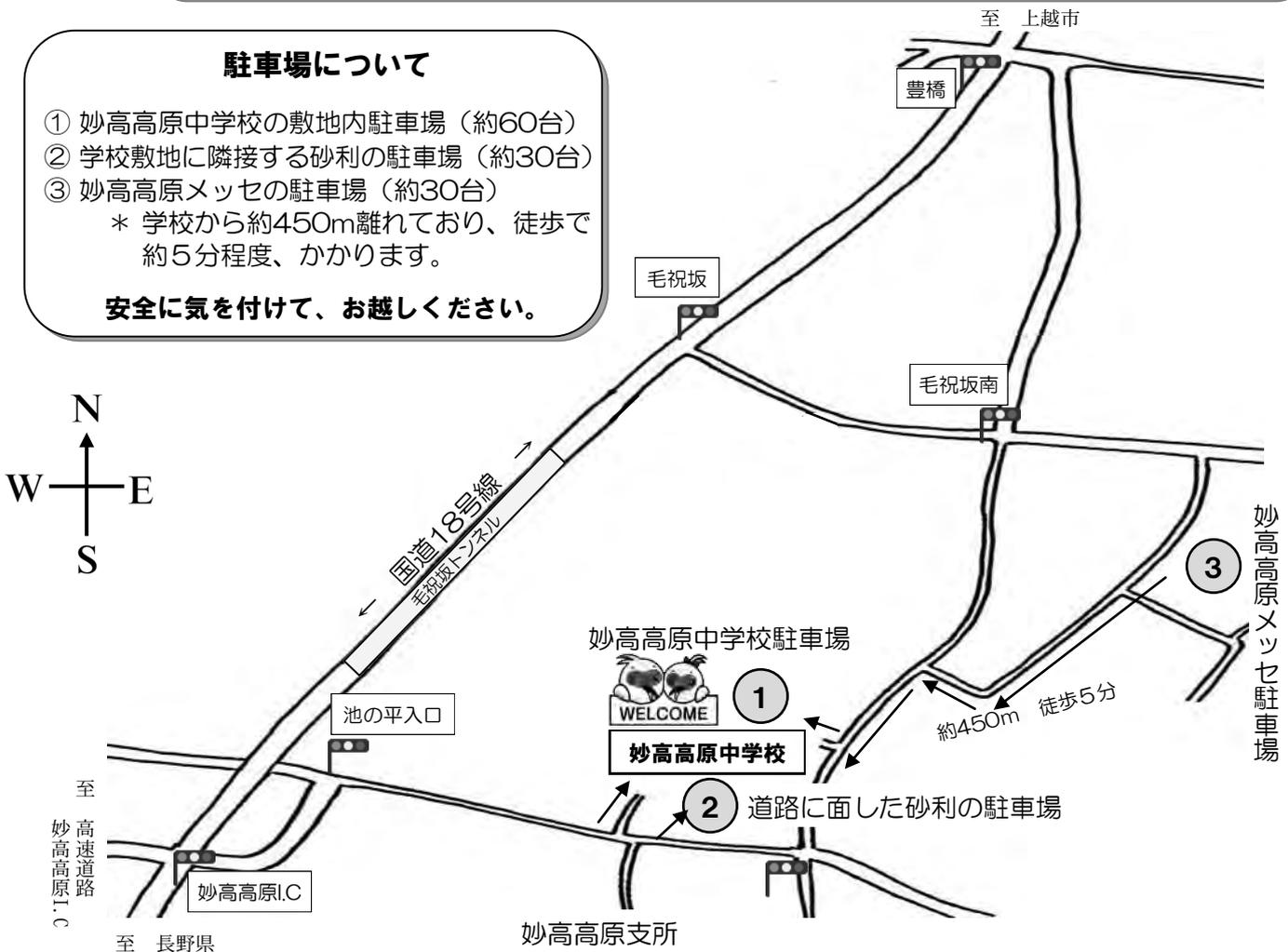
会場について

- ① 妙高高原中学校の社会体育用玄関（体育館）からお入りください。
- ② スリッパを用意いたしますが、内履きをお持ちいただけると幸いです。
- ③ 標高が高いため、急な冷え込みも考えられます。必要に応じて、防寒具をお持ちください。
- ④ 駐車場に限りがありますので、乗り合わせにご協力くださいますようお願い申し上げます。

駐車場について

- ① 妙高高原中学校の敷地内駐車場（約60台）
- ② 学校敷地に隣接する砂利の駐車場（約30台）
- ③ 妙高高原メッセの駐車場（約30台）
* 学校から約450m離れており、徒歩で約5分程度、かかります。

安全に気を付けて、お越しください。



多くの皆様の参加をお待ちしております。

平成 28 年度 小・中・特別支援学校 P T A 指導者研修会（上越地区）開催要項

- 1 趣 旨 心身ともに健全な児童生徒の育成に向けて、P T A 活動に関する研修を行い、P T A 活動の活性化を図る指導者としての資質向上を目指す。
- 2 テーマ 「学校と家庭、地域をつなぐ P T A 活動の工夫」～各学校 P T A の課題とその解決～
- 3 対 象 上越地区にある小学校、中学校、中等教育学校、県立・市立特別支援学校の P T A 役員及び教職員
- 4 主 催 新潟県教育委員会
- 5 共 催 上越市教育委員会、糸魚川市教育委員会、妙高市教育委員会
- 6 主 管 上越教育事務所社会教育課
- 7 期 日 平成 28 年 6 月 22 日（水）
- 8 会 場 ユートピアくびき希望館 （上越市頸城区百間町 716 TEL025-530-2360）
- 9 日 程

13:00 13:30 13:50 14:00 15:00 15:10 16:20 16:30

受付	【開会式】 挨拶 趣旨説明 日程説明	【グループワーク】 仲間作りの アクティビティ	移動 休憩	【講演会】 「高め合うチームのための コミュニケーションと合意形成」 講師 国立妙高青少年自然の家所長 伊野 亘 様	【閉会】 連絡
----	-----------------------------	-------------------------------	----------	--	------------

10 参加申し込み

下の申込書に必要事項を記入し、ファックスまたはメールで下記担当者にお申し込みください。
申し込みの締め切りは、6月3日（金）必着です。

*【ファックスの場合】送り状は不要です。下の申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。

*【メールの場合】下の申込書に必要事項を入力の上、本文書のデータをそのまま添付して送信してください。

11 申込み先及び問合せ先

上越教育事務所社会教育課 副参事 湯浅昭司

TEL 025-526-9377 FAX 025-523-7542 E-mail yuasa.shoji@pref.niigata.lg.jp

12 その他

↑
エルジィ

保護者及び教職員会員、それぞれ1名以上の参加をお願いします。

平成 28 年度 小・中・特別支援学校 P T A 指導者研修会（上越地区）申込書

（ _____ 立 _____ 学校） 記載責任者（ _____ ）

No.	参加者の氏名	どちらかに○ (または、該当しない方を削除してください。)	P T A の役職または教職員の職名
1		保護者 教職員	
2		保護者 教職員	
3		保護者 教職員	
4		保護者 教職員	

事業名 [平成28年度 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会]

目的 PTA活動に関する研修をとおして、指導者としての資質の向上を図り、PTA活動の活性化を目指す。

実施主体 主催：新潟県教育委員会（主管：中越教育事務所）
共催：長岡市教育委員会、魚沼市教育委員会、燕市教育委員会

参加対象 小学校・中学校・特別支援学校のPTA役員及び教職員 **参加者数** 362名

回数 3回 **日数** 3日 **時間** 各3時間40分

場所 長岡市中之島文化センター（6/1）、魚沼市中央公民館（6/14）、燕市吉田産業会館（6/21）

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等			
①6月1日(水) ②6月14日(火) ③6月21日(火) 13:00～16:40		学校と家庭、地域をつなぐPTA活動の工夫	講師：インターネット利用アドバイザー 大久保 真紀 様 ファシリテーター：県生涯学習推進課 1人 中越教育事務所 4人			
1	○ 日程 12:30 13:00 13:20 14:30 14:45 16:30 16:40					
内容・方法	受 付	開 会 式	講 義 「家庭におけるメディア利用について～スマホ時代を賢く生きていくには～」	移 動	グループワーク（ワールド・カフェ） 「家庭におけるメディア利用の問題を防止・解決するためにPTAとしてすべきことは？」	閉 会

成果

- ・日程の面では、3会場とも講義を60分、その後にグループワークによる研修を65分とし、概ね参加者からは「とてもよかった」「よかった」との肯定的評価であった。
- ・多くの参加者から「メディアやネットについて、新しい現状を知ることができた」「自分の知識は随分遅れていると思った」「子どもを守る知識を勉強しなくてはいけないと思った」「フィルタリングのやり方などがわかりやすかった」といった新たな知識を得て意識を高める感想が多かった。
- ・グループワークでのワールド・カフェ方式は、参加者にとって気軽に発言でき、互いの情報交換ができるということで、大変好評であった。

会場	参加人数
長岡市	141名 (刈羽村 139)
魚沼市	124名(113)
燕市	90名(110)
計	362名(359)

(カッコ内は27年度)

校種	対象学校数	参加校数	参加校率	参加人数
小学校	195校(195)	187校(191)	95.9%(97.9)	223人(222)
中学校・中等教育校	99校(100)	96校(97)	97.0%(97.0)	115人(120)
特別支援学校	11校(11)	11校(11)	100%(100)	17人(20)
全 体	305校(306)	294校(299)	96.4%(97.7)	355人(362)

(カッコ内は27年度)

課題

- ・研修内容を過去2年間の「ネットワーク犯罪」から「家庭におけるメディア利用」とし、参加者からは次年度も同じ内容を望む声が多かった。しかし、メディアにかかわる啓発機会の増加や社会的意識の高まりがあり、今後は異なる分野を検討したい。
- ・少数であるが複数の参加者から「中学生が参加する郡市体育大会に行きたかった」という声があり、今後は可能な範囲で日程を調整したい。

問合せ先 新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当：田村 豊）TEL：0258-38-2652



平成28年度子ども読書活動推進事業

子ども読書レベルアップ研修会

【主催】新潟県教育委員会

【主管】中越教育事務所社会教育課

会場：燕市吉田公民館

(燕市吉田大保町22番1号 tel 0256(92)4111)

時間：午後1時30分～4時30分



9月20日(火) 講義・グループワーク

「いつ、どのような本と出会うか
～中高生世代への本の届け方を考える～」

講師：獨協大学 教授 井上 靖代 様

10月17日(月) 講義・演習

「ブックトークについて～本の紹介の仕方を学ぼう～」

講師：新潟子どもの本を読む会 野上 千恵子 様

ブックトーク…子どもや成人の集団を対象に、あらすじや著者紹介等を交えて、本への
興味が湧くような工夫をこらしながら本を紹介すること。

10月31日(月) 講義・演習

「アニメーションを体験してみよう」

講師：新潟アニメーション研究会 代表 佐藤 清江 様

アニメーション…あらかじめ決められた1冊の本を読み、様々な「作戦」(課題)を通して
子どもたちに自分の考えを自由に発言させることで、子どもの読む力を引き出す。

11月21日(月) 講義・グループワーク

「読書の意義について
～それぞれの立場から、
子ども読書活動の課題について考える～」

講師：筑波大学 准教授 鈴木 佳苗 様

下記申込書に必要事項を記入し、FAX 又は 郵送でお申し込みください。応募者多数の
場合は抽選とさせていただきます。締切りは**8月31日(水)必着**です。

<申込み・問合せ先>

〒940-8554 長岡市沖田2-173-2

TEL 0258(38)2652

中越教育事務所社会教育課

FAX 0258(38)2682

担当： 副参事 金子 剛

子ども読書レベルアップ研修会 申込書

参加希望日を○で囲んでください。(複数選択可)

8月31日(水)必着

9月20日(火)

10月17日(月)

10月31日(月)

11月21日(月)

氏名 _____ (所属名・職業 _____)

住所 _____ 電話 _____

平成28年度
**社会同和教育
 市町村巡回研修会**
 三条・加茂・田上ブロック



**同和問題を正しく理解しましょう。
 差別解消に向けて実践しましょう。**

期日：平成28年10月12日(水)

会場：三条市中央公民館

(三条市元町13番1号 ☎0256-32-4811)

12:40 13:00 13:15 13:30 14:50 15:00 16:20 16:30

受付	開会式	説明 新潟県教育委員会 の社会同和教育に おける取組 ・質疑応答	講義 新潟県の部落差 別の実態と同和 教育の推進(仮) ・質疑応答	移動	グループワーク 同和问题解消に向けて ～今、何をすべきか～	閉会式
----	-----	--	---	----	-------------------------------------	-----

駐車場について：三条鍛冶道場の駐車場もお借りしていますが、できれば乗り合わせて御来場いただくとありがたいです。

●三条市・加茂市・田上町の方は、下記へお申し込みください。
 三条市市民部生涯学習課 ☎ 0256-32-4811
 加茂市教育委員会社会教育課 ☎ 0256-52-0080
 田上町教育委員会生涯学習係 ☎ 0256-57-3114

●他市町村の方は、下記へお申し込みください。
 中越教育事務所社会教育課 ☎ 0258-38-2652
 FAX 0258-38-2682

申し込み：9月23日(金)まで

【主催】新潟県教育委員会
 【共催】三条市教育委員会 加茂市教育委員会 田上町教育委員会

【問合せ先】新潟県教育庁中越教育事務所 社会教育課 金子 剛
 (長岡市沖田2丁目173-2 電話 0258-38-2652)

事業名 [平成28年度 下越地区社会同和教育市町村巡回研修会]

目的 すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、差別意識の払しょくを図り、人々の人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深め、問題の解決に資することができるよう啓発を図る。

実施主体 主催：新潟県教育委員会（主管：下越教育事務所） 共催：胎内市教育委員会
後援：聖籠町教育委員会

参加対象 教育行政関係者、社会教育委員、公民館運営審議会委員、子ども会指導者、PTA・婦人会等社会教育関係団体の関係者、人権擁護委員、民生委員、社会福祉関係者、学校教育関係者、保護者、地域住民等

参加者数 83名

回数 1回 **日数** 1日 **時間** 3時間40分

場所 胎内市立乙中学校

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等																				
1	11月18日(金) 13:00～16:40	「学校で同和教育を行う意義」	新発田市立五十公野小学校 教頭 濱田 浩昭 様																				
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観(13:35～14:25) 1～3年生で「生きるIV」を使った公開授業 ・ 全体会(14:40～16:30) <ul style="list-style-type: none"> (1) 挨拶 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">下越教育事務所長</td> <td style="width: 33%;">佐藤 政志</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>胎内市教育委員会教育長</td> <td>小谷 太一郎 様</td> <td></td> </tr> </table> (2) 県所管事項の説明 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">県生涯学習推進課成人教育係</td> <td style="width: 33%;">社会教育主事</td> <td style="width: 33%;">中川 日里</td> </tr> </table> (3) 会場校校長挨拶 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">乙中学校長</td> <td style="width: 33%;">大久保 元 様</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table> (4) 乙中学校の取組説明 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">乙中学校</td> <td style="width: 33%;">教諭</td> <td style="width: 33%;">新井 達夫 様</td> </tr> </table> (5) 講演 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">演題</td> <td colspan="2">「学校で同和教育を行う意義」</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td colspan="2">新発田市立五十公野小学校 教頭 濱田 浩昭 様</td> </tr> </table> 	下越教育事務所長	佐藤 政志		胎内市教育委員会教育長	小谷 太一郎 様		県生涯学習推進課成人教育係	社会教育主事	中川 日里	乙中学校長	大久保 元 様		乙中学校	教諭	新井 達夫 様	演題	「学校で同和教育を行う意義」		講師	新発田市立五十公野小学校 教頭 濱田 浩昭 様	
下越教育事務所長	佐藤 政志																						
胎内市教育委員会教育長	小谷 太一郎 様																						
県生涯学習推進課成人教育係	社会教育主事	中川 日里																					
乙中学校長	大久保 元 様																						
乙中学校	教諭	新井 達夫 様																					
演題	「学校で同和教育を行う意義」																						
講師	新発田市立五十公野小学校 教頭 濱田 浩昭 様																						

成果 ○今回の研修会は、昨年度に引き続き学校を会場として実施した。参加者は83名で、関心の高さがうかがえた。
○講演は、講師の学校現場の実態をふまえた内容であり、学校で同和教育を行う意義について会場全体が聞き入る雰囲気であった。

課題 ○市町村からの参加者は、ほとんどが学校関係者であり、今後、民生委員や人権擁護委員等を中心に地域住民の参加割合を高めていくことが特に重要である。
○地域住民の参加割合を高めていくことが重要である。参加者募集の広報の工夫、対象地域の教育委員会への働きかけが重要である。

問合せ先 下越教育事務所社会教育課（担当:本間 道夫） TEL:0254-27-9158

事業名 [平成28年度 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会]

目的 心身ともに健全な児童生徒を育成するPTA活動の活性化を図るため、PTA活動に関する研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。

実施主体 主催：新潟県教育委員会(主管：下越教育事務所) 共催：佐渡市・阿賀野市教育委員会

参加対象 小・中・中等・特別支援学校のPTA
 会員、教職員、行政職員等

参加者数 202人
 (佐渡70人、下越132人)

回数 各1回

日数 各1日

時間 3.5時間

場所 1回目：佐渡市あいぼーと佐渡 2回目：阿賀野市ふれあい会館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月6日 3.5時間	「学校と家庭、地域をつなぐPTA活動の工夫」 ～子どもたちの健やかな成長を図るPTA活動を目指して～	新発田市立二葉小学校 PTA会長 井澤 栄一郎 様
	内容・方法	○事例発表「『いのち』を大切に、守る」教育活動へのPTAの参加・参画について ・二葉小学校は、平成27年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞した。 ・学校を拠点に二葉小学校地域連携ネットワークという、自治会、おやじの会（お父さんのサークル）、二葉サークル（お母さんのサークル）、民生児童委員会、育成協議会などが連携した組織がある。 ・町内会と学校が連動した避難訓練を実施した。炊き出しや引き渡し訓練などを行い、地域が一体となり、命を守る活動に取り組んだ。 ○グループ協議「地域と連携するPTA活動を目指して」 ・学校、家庭、地域をつなぐPTA活動について、現状や課題から解決策を協議した。様々な意見を基に、各単位PTAで取り組むことを検討した。 最後にいくつかのグループが発表し、全体に紹介した。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	6月15日 3.5時間	「学校と家庭、地域をつなぐPTA活動の工夫」 ～子どもたちの健やかな成長を図るPTA活動を目指して～	新発田市立二葉小学校 PTA会長 井澤 栄一郎 様
内容・方法	佐渡市会場と同じ		

成果 PTA会員や行政職員、教職員に学校、家庭、地域の連携に向け、PTAの果たす役割の大切さを、具体的な取組を基にして事例発表を行った。参加者の評価は、「大変よい・よい」が佐渡100%、下越99.1%であった。
 グループ協議では、学校と地域をつなぐPTA活動の工夫について、現状と課題を出し合い、解決策を話し合った。また、互いの情報交換の場としても充実していた。

課題 下越地区は広域なため、開始、終了時刻の設定が難しい。開会式等できるだけ簡素化し、時間の確保や移動時間を考慮する。
 ・各単位PTA役員は一年交代の場合があり、次年度に生かし切れない面もある。参加対象を一般の会員にも拡大していたが、参加者のほとんどが役員であった。各校への案内の仕方に工夫が必要である。

問合せ先 下越教育事務所社会教育課（担当：石川 裕）TEL：0254-27-9158

事業名 〔平成28年度 子ども読書レベルアップ研修会（下越・佐渡地区）〕

目的 地域で子ども読書活動推進の牽引役となる方を対象とした総合的な知識と実践的な技術の習得を図るとともに、学校での活動を活性化させるため、学校関係者と地域との活動者が一体となって研修を受け、関係者のネットワークの構築を図る。

実施主体 新潟県教育庁生涯学習推進課・下越教育事務所社会教育課
 共催：聖籠町教育委員会・佐渡市教育委員会
 後援：聖籠町PTA連絡教委議会・佐渡市PTA連絡協議会

参加対象 司書、幼・小・中・高・中等教育・特別支援学校教員
 保育所、児童館職員、行政職員、読書ボランティア等

参加者数 延べ175名

回数 6回 **日数** 6日

時間 21時間

場所 (下越地区)聖籠町立図書館 (佐渡地区)金井コミュニティセンター・両津総合体育館

内容 ○聖籠会場 ☆佐渡会場

回	期日・時間	テーマ	講師等
1 ○ ☆	9月13日(火) 13:00~16:30	いつ、どのような本と出会うか ~中高生世代への本の届け方を考える~	獨協大学 教授 井上 靖代 様
	9月21日(水) 13:00~16:30		
	内容 方法	○ YAへの本の届け方について ○ 選書について (オープンエンドとセミオープンエンド)	
	期日・時間	テーマ	講師等
2 ○ ☆	9月27日(火) 13:00~16:30	読書の意義について ~それぞれの立場から、 子ども読書の課題について考える~	筑波大学 准教授 鈴木 佳苗 様
	11月22日(火) 10:00~15:00		
	内容 方法	○ 読書の現状と目的について ○ 子どもの読書への関心を高めるための工夫とそのための準備	
	期日・時間	テーマ	講師等
3 ○	10月6日(金) 13:00~16:30	「アニメーションを体験してみよう」	新潟アニメーション研究会 佐藤 清江 様
	内容 方法	○アニメーションの基本について ○「75の作戦」に基づいたアニメーションの体験	
	期日・時間	テーマ	講師等
4 ○	11月22日(火) 10:00~15:00	「ブックトークについて」	新潟子どもの本を読む会 野上 千恵子 様
	内容 方法	○ブックトークの基本について ○ブックトークの実演と実践発表	

成果 ・受講者は活動歴1年未満の初心者から10年以上のベテランまで幅広い方々が受講したが、それぞれ特色のある講師が1回ずつ研修会を担当していただき、各回とも受講者からは「とても満足」との感想があり好評であった。

・ボランティアの自主サークルとして自立した活動ができるように、財源確保の面から「子どもゆめ基金」の活用を紹介した。

課題 ・1回の研修会の時間が短く、グループワークの時間がもう少し多くとれると良い。

・佐渡での研修を上・中・下越の研修会と同じ回数で実施できると良い。

・市町村は、子ども読書活動の推進や読み聞かせのスキルアップのための講座を企画したいが、講師情報が不足していることがうかがえる。県立図書館との連携や支援が受けられるよう調整ができると良い。

問合せ先 下越教育事務所社会教育課 (担当:本間 道夫) TEL:0254-27-9158

事業名 [自然・ふれあい！家族のつどい]

目的 季節に応じた自然体験を通して、家族のふれあいを深め豊かな情操や社会性を育てる

実施主体 新潟県少年自然の家

参加対象 小・中学生を含む家族 **参加者数** 118名

回数 2回 **日数** 各回1泊2日 **時間** 各回24時間

場所 新潟県少年自然の家（胎内市乙字大日裏）

内容

	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月27日(土) 28日(日)	～家族でアウトドアクッキング&カヌー・釣り～ ・体験活動を通して、家族のふれあいや他家族との交流を深めよう。 ・役割分担を明確にして活動に取り組もう。	新潟県少年自然の家職員
	内容・方法	○複数の家族で班編成し、子どもが主体となり、バーベキュー・焼きそば作りを実施 ○家族間・家族内の親睦を深めるため、1日目の夜にキャンプファイアを実施 ○家族毎に、カヌー又は釣りをを選び、胎内川で体験活動を実施	
	期日・時間	テーマ	講師等
2	12月3日(土) 4日(日)	～クリスマスパーティー&リースづくり～ ・クリスマスクッキングやパーティーを通して、家族のふれあいや他家族との交流を深めよう。 ・敷地内の自然素材を利用したクリスマスリース・しめ縄づくりを通して、冬の自然に親しもう。 ・家族内の役割分担を明確にして活動に取り組もう。	新潟県少年自然の家職員 パーティーボランティア
	内容・方法	○クリスマスパーティーのために、複数の家族で班編成し、パーティー料理・クリスマスケーキを作製 ○パーティーで、キャンドルファイアやサンタ・胎内市ゆるキャラによるプレゼント配布等を実施 ○遊歩道を散策しながら、藤ツルやヒイラギの葉、サルトリイバラの赤い実等を採取し、自然素材を材料としたクリスマスリースを作製 ○希望により、稲わらを使ったリースやしめ縄を作製	

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非日常的な体験に興味深く、そして楽しく取り組んでもらえた。家族同士のふれあいが深まり、さらに他家族とのかかわりも生まれ、貴重な体験ができたという高い評価（満足度）を得ている。 ・ 活動に応じてボランティアや地域の方々の協力を得て活動内容の充実が図られた。よりいっそう地域特有の文化や産業、食に関するプログラムの内容の充実を図る。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの参加者を受け入れるため、参加内容や方法を工夫し、参加定員を増やす。 →抽選により参加できない場合もあるため。 ・ アンケートによる参加者の声を重視し、マンネリ化等を防止するためにも、プログラム内容や参加費等を見直し、改善を図る。

問合せ先 新潟県少年自然の家 指導課（担当：古 俣 雅 毅） TEL:0254-46-2224

事業名 [チャレンジわんぱく]

- 目的**
- ①学校や家庭では得難い自然体験を通し、自然に親しむ心や自然への畏敬の念を育てる。
 - ②様々な自然体験に挑戦し、勇気をもって行動することの大切さに気付かせる。
 - ③集団宿泊生活を通して、ルールやマナーの社会性や他者を思いやる心等を育てる。

実施主体 新潟県少年自然の家

参加対象 小学4～6年生男女 **参加者数** 205名

回数 3回 **日数** 各回1泊2日 **時間** 各回24時間

場所 新潟県少年自然の家、高坪山（村上市）、胎内スキー場

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月30日（土） 31日（日）	～サマーチャレンジ！友達つろう！ドキドキカヌー体験！～ カヌー体験を通し、自然条件に適応しながら活動することの難しさや楽しさを味わわせる。	新潟県少年自然の家職員
	内容・方法	○胎内川河口付近でのカヌー活動（1日目・2日目） ○荒井浜での海遊び（2日目） ○キャンプファイア・レクリエーション	
2	10月1日（土） 2日（日）	～オータムチャレンジ！高坪山！頂上で感動を分かち合おう！～ カヌー体験を通し、自然条件に適応しながら活動することの難しさや楽しさを味わわせる。	新潟県少年自然の家職員 登山ボランティア
	内容・方法	○野外でカレーライス・サラダ・デザートを自炊（1日目夕食） ○野外テント泊 ○標高570mの高坪山登山（2日目）	
3	平成29年 1月28日（土） 29日（日）	～ウィンターチャレンジ！気分爽快スキー体験！友達とシュプールを描こう！～ スキー体験を通し、達成感を味わわせるとともに、その楽しさを味わわせる。	新潟県少年自然の家職員 胎内市スキー連盟
	内容・方法	○どんど焼きで日本の伝統文化体験（1日目） ○もちつき体験（1日目） ○講師指導によるスキー体験（2日目）	

- 成果**
- ・ 地域の違う参加者による集団宿泊生活で社会性が身に付いてきた。
 - ・ 克服的な自然体験活動による経験が、粘り強さの育成につながっている。
 - ・ ボランティアや地域の方々の協力を得て活動が実施できた。
- 課題**
- ・ 活動の内容（カヌー活動）で募集人員の制限がある。定員以上の応募があった場合は抽選により参加できない場合もある。活動の実施方法を工夫し、参加定員を増やす。
 - ・ 参加者の声を重視し、事業改善（プログラム内容や参加費等）を図る。

問合せ先 新潟県少年自然の家 指導課（担当：笠原 崇史） TEL:0254-46-2224

地域と学校を結ぶ
コーディネータUP!

H28 地域連携コーディネーター養成スクール

地域の力を学校に

～地域と学校を結ぶコーディネーターのための学び場～

地域と学校が連携・協働を進め、次代を担う子どもたちを育むこと、学校を核にした地域作りを行うことが求められています。そのために地域と学校をつなぐコーディネーターの存在が必要です。全国や県内で活躍の講師から、その役割を実践的に学べる絶好の機会です。

毎回 9:50～16:00 (受付9:30～) 各回どちらかの会場に参加!

期日・会場	主な講師紹介
<p>【第1回】 6月10日(金) 刈羽村 ラピカ</p> <p>6月17日(金) 生涯学習推進センター</p>	<p>〈テーマ〉地域コーディネーターの役割を学ぶ 趣旨説明「県の地域連携の施策・方針・実態」 講師 新潟県教育庁生涯学習推進課職員 講義・演習「地域連携コーディネーターの役割 ～実践理論を体験的に身に付ける～」 講師：宇都宮大学 准教授 佐々木 英和 様</p>
<p>【第2回】 7月 6日(水) 刈羽村 ラピカ</p> <p>7月 8日(金) 生涯学習推進センター</p> 	<p>〈テーマ〉コーディネーターとしての基礎的スキル習得 講義・演習「グループワークや会議の進め方について ～ファシリテーショングラフィックを使った話し合い～」 講師：NPO まちづくり学校 山賀 昌子 様</p> <p>〈テーマ〉コーディネーターの活動の実際を知る 県内実践事例の発表 上中越会場 講師：刈羽村立刈羽中学校地域コーディネーター 様 上越市立春日小学校地域連携担当教員 様 柏崎市教育委員会生涯学習課職員 様 下越会場 講師：胎内市立築地小学校地域コーディネーター 様 新発田市立二葉小学校地域連携担当教員 様 村上市教育委員会教育支援センター職員 様 演習「実践事例から学ぶコーディネートのポイント」 講師：生涯学習推進センター職員</p>
<p>【第3回】 9月15日(木) 刈羽村 ラピカ</p> <p>9月16日(金) 生涯学習推進センター</p>	<p>〈テーマ〉地域コーディネーターとして地域で活動するために 講義・演習「地域コーディネーターとして活動するために ～企画力・実践力の向上をめざして～」 講師：学社融合研究所 代表 越田 幸洋 様 振り返り「研修を振り返って」</p>

- ◆対象：①現在、学校支援活動・放課後子供教室等でボランティアとして活動しており、
地域コーディネーターとして活動したい方（3回連続で参加）
②既に地域コーディネーターとして活動している方（①の方を優先します）

- ◆定員：40名
◆参加費：無料

※申込書については裏面をご覧ください。

※お問合せ 新潟県立生涯学習推進センター担当 小林（電話 025-284-6110）

平成28年度 生涯学習推進 職員のための

基礎研修会



★これからの生涯学習推進に必要なスキルと視点を県内外で活躍されている講師により、実践的に学べる場です。初めて生涯学習推進に取り組む方はもちろん、学び直したい担当経験者まで、多くのみなさんの受講をお待ちしています。

毎回 受付9：30～（開会9：50 研修10：00～16：00）

期 日	主 な 講 師 紹 介
【第1回】 4月26日（火） 講義と演習	「生涯学習推進 はじめの一步 ～県の施策について～」 講師：県立生涯学習推進センター 所長 樋口 健一 「生涯学習、社会教育の意義と生涯学習推進職員の役割」 講師：青山学院大学 教授 鈴木 眞理 様 国社研の社会教育主事講習でお馴染み、大変人気の高い講師です。社会教育の歴史や意義を知り尽くしていらっしゃる講師から、生涯学習、社会教育の重要性を学べます。やる気いっぱいになります。
【第2回】 5月24日（火） 講義と演習	「講座づくりのコツとワザ ～よりよい社会教育（公民館）事業をめざして～」 講師：千葉大学 非常勤講師 越村 康英 様 11年間の社会教育指導員の経験から、市民の目線に立った企画、運営にかかわり現在は 千葉大学を基軸に全国で活躍されています！2日間に渡ってじっくり学習プログラム立案のノウハウを学べます。生涯学習推進担当課、公民館、コミュニティ等々の事業計画に大変役立ちます。
【第3回】 5月25日（水） 講義と演習	
【第4回】 11月22日（火） 講義と演習	「生涯学習の実際～先輩から学ぶ～」 講師：胎内市生涯学習課社会教育係 主任 森 敬史 様 生涯学習推進の第一線で活躍中の先輩から業務の本質を学べます。 「学習プログラムや事業を振り返って」 進行：県立生涯学習推進センター 社会教育主事 「なぜ、『シブヤ大学』に若者が集まるのか」 講師：シブヤ大学 学長 左京 泰明 様 若者に大人気の市民大学「シブヤ大学」の火付け役の学長から、その人気の秘密をお聴きできます。皆さんの地域の活性化や担当している事業や講座の改善につながることも間違いなしです。

◆会 場：新潟県立生涯学習推進センター（県立図書館複合施設）

◆対 象：県内生涯学習推進関係職員

◆参 加 費：無料

◆定 員：40名

◆申込〆切：平成28年4月20日（水）必着



研修会当日だけでなく、担当事業の学習プログラム作りや講座内容、講師紹介など、年間を通じてご相談に乗ります。

* 申込方法等の詳細は別紙要項をご覧ください。下記担当へ直接ご連絡いただいても OK
お問合せ：新潟県立生涯学習推進センター担当 学習振興課 小林 朋広

電話025-284-6110※詳細は別紙 開催要項・裏面参加申込書をご覧ください。

地域に活力!!

コミュニティリーダー研修会

公民館で

行政で

地域で

なぜ「シブヤ大学」に 若者が集まるのか



地域の課題に対応した地域づくり・人づくりを進めるための理論・実践を学び、地域のリーダーに!

「シブヤの街が教室、シブヤの街で働く人が先生。」多くの若者を惹きつけるシブヤ大学の創設者・左京泰明学長より、事例をもとに、楽しく御講義いただきます。
地域づくり・人づくりに関心のある方、必聴!

11月22日火曜日

参加費 無料 13:00~16:00
(受付12:30)

◆会場 県立生涯学習推進センター
大研修室(県立図書館複合施設)

◆対象 生涯学習・社会教育関係者、
NPO・ボランティア関係者等

◆定員 30名

◆申込締切 11月 8日(火)



講師

特定非営利活動法人

シブヤ大学

学長

左京 泰明 様

●プロフィール●

1979年、福岡県出身。早稲田大学卒業後、住友商事株式会社に入社。2005年に退社後、特定非営利活動法人グリーンバードを経て、2006年9月、特定非営利活動法人シブヤ大学設立、現在に至る。

にいがた未来創造講座①

～ファシリテーションが組織を変える～

みんなが元気になる



楽しい会議のテクニック

6月29日(水)

■ 9:50～16:00 (受付9:30)

■ 会場：県立生涯学習推進センター
(県立図書館複合施設)

注：笑い
過ぎ

申込締切：6/16(木)

「日本一楽しい研修会！」遂に新潟へ！！

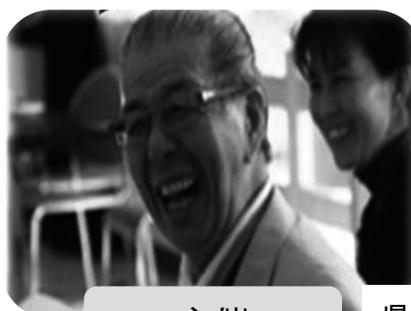
=心を奪い、想像を裏切り、人生を揺さぶる漫才研修会を見逃すな

なんと
参加費
無料で～
す！
by小野寺
郷子(講師)



募集人数

30名



主催

県立生涯学習推進センター

申し込み先

裏面参照

募集対象

生涯学習関係職員、学校関係者、NPO関係者家庭教育支援関係者、行政職員など

講師

背脂ラーメンのような濃厚カisma講師

会議ファシリテーター普及協会 代表：釘山 健一様
副代表：小野寺 郷子様

★★★服装：思いきり気楽な服装★★★

にいがた未来創造講座②

コミュニティを創造する

メディア活用講座

～小さなメディアを育む～

10月7日(金)

■ 9:50～16:00 (受付9:30)

■ 会場：県立生涯学習推進センター

(県立図書館複合施設)

申込締切：9/21(水)



メディア活用の新しい可能性を体感してみませんか？

メディアリテラシー研究の第一人者がわかりやすく

講義をし、メディアを用いた活動を体験してもらい

ます。まちづくり、教育、ビジネスなどに活用可能

なヒントやアイデアが満載です！



募集対象

生涯学習関係職員、学校関係者、
NPO 関係者、家庭教育支援関係者、
行政職員など



講師 東京大学大学院
情報学環

教授 **水越 伸 様**

1963年生まれ。筑波大学卒業。東京大学大学院社会学研究科博士課程中退。情報技術と人間・社会の動態をとらえる「ソシオ・メディア論」を提唱。市民のメディア表現やリテラシーの実践的研究に取り組む「メルプロジェクト」などを展開。<http://www.mediabiotope.com>
著書に『改訂版 21世紀メディア論』（放送大学教育振興会、2014）、『メディアリテラシー・ワークショップ：情報社会を学ぶ、遊ぶ、表現する』（東京大学出版会、2009）など。

主催 県立生涯学習推進センター

募集人数 20名

参加費

無料

インターネットを利用した 犯罪やいじめから 青少年を守るために

インターネットは、青少年にとって欠かせない存在となっています。

インターネットを利用した犯罪やいじめ、ネット依存等の事例を手がかりに、青少年がトラブルに巻き込まれないための予防策や対処方法をご紹介します。

期 日 平成28年6月30日(木)

受 付 13時30分～

研修会 14時00分～16時00分

会 場 新潟県立生涯学習推進センター

(新潟市中央区女池南3-1-2 県立図書館複合施設)

講 師 インターネット利用アドバイザー 大久保 真紀 様

定 員 60名(先着順)

参加費 無料

申込方法 以下の参加申込書をFAXにて送付をお願いします。



----- FAX (025-284-6019) の場合は、切り取らず に送信してください。 -----

平成28年度 メディア研修会(特論)「インターネットを利用した犯罪やいじめから青少年を守るために」参加申込書

ふりがな 名 前	電話番号	
	Fax番号	

【申込先】 新潟県立生涯学習推進センター 電話:025-284-6110 FAX:025-284-6019



日時：2016年11月17日（木）13:30～16:30（受付13:15～）

会場：新潟県立生涯学習推進センター

新潟県新潟市中央区女池南3丁目1番2号

地域に残る映像資料の活用ワークショップ

～ 昭和の新潟を伝える映像資料の教育や市民講座での活用 ～

新潟県内に残された古い映像資料を題材に使いながら、映像を用いた授業や市民講座の具体的な進め方について、実際に模擬プラン作りをしながら、参加者相互に考えてみたいと思います。

■ミニ・レクチャー

「映像資料を活用した授業の可能性と課題」

講師：佐藤幸江（金沢星稜大学人間科学部教授）

「地域映像アーカイブを活用した授業と市民講座事例の紹介」

講師：北村順生（立命館大学映像学部准教授）

■ワークショップ

「映像資料を活用した授業プラン・講座プラン作り」

映像資料提供：新潟大学人文学部地域映像アーカイブセンター

対象者：小中学校教員、社会教育関係者、など

参加申込：①氏名、②所属（担当学年）、③電話番号、④メールアドレス、⑤映像資料を活用してみたい学年、教科、単元、市民講座のテーマ等（分かる範囲で結構です）を明記の上、「新潟県立生涯学習推進センター」宛にお申し込みください。

e-mail: nlpc@mail.lalanet.gr.jp

tel: 025-284-6110

fax: 025-284-6019

参加費 無料
定員 30名
申込締切 11月4日(金)

問い合わせ先：新潟大学人文学部地域映像アーカイブセンター e-mail: cria@human.niigata-u.ac.jp

家庭教育・子育て



サポート基本講座

地域で子育てを応援しましょう!!

家庭教育(子育て)に興味・関心のある人、これから支援者として活動していきたいと考えている人、すでに支援者として活動している人、保育園や幼稚園の先生、学校の先生等を対象にした連続講座です。

家庭教育支援を始めるには? 社会問題にもなっている虐待や子どもの貧困に向き合うには? 子育てに悩みを抱えている保護者への寄り添い方は? 等、多様な支援に対応した理論やスキルを学べます。



みなさん気軽に受講してください。

受付9:40 開始10:00~終了16:00

	日 程	内 容
第1回	佐 渡 6月 2日(木) 中之島 6月 9日(木) 小千谷 6月 8日(水)	◇「今求められている家庭教育支援」 ~こんなふうに支援のスタートを~ NPO 法人多世代交流館になこーナ 代表理事 佐 竹 直 子 様
第2回	佐 渡 7月 1日(金) 中之島 6月 30日(木) 小千谷 7月 8日(金)	◇「子どもを取り巻く現状と親への支援」 新潟青陵大学社会福祉心理学部社会福祉学科 准教授 藤 瀬 竜 子 様
第3回	佐 渡 7月 19日(火) 中之島 7月 14日(木) 小千谷 7月 22日(金)	◇「親の心に寄り添う支援」 ~カウンセリングの手法を学ぶ~ 新潟市教育相談センター 指導主事 山 田 友 明 様

佐渡会場、中之島会場、小千谷会場の中から受講を希望する会場を選んで、お申込みください。(裏面)
詳しいことは、新潟県立生涯学習推進センター(025-284-6110)までお問合せください。

佐渡会場:アミューズメント佐渡 中之島会場:中之島文化センター 小千谷会場:小千谷市民会館

主催:新潟県教育委員会

共催:佐渡市教育委員会

小千谷市教育委員会

子ども支援スタッフ・ボランティア研修会

元小学校長による講義とグループワークにより、ボランティアとしての資質や子どもや親へのかかわり方等について学ぶことができる研修会です。是非この機会にご参加下さい。



日時 6月22日(水) 新潟会場
6月23日(木) 長岡会場
13:20~16:30

◆講師

新潟市立葛塚小学校 前校長 梅津 玲子 様
(新潟市教育委員会地域と学校ふれあい推進課 元課長)

◆研修内容

時間	内容
13時20分~16時30分 (受付:13時00分~)	講義・グループワーク 「学校側から見たボランティアへの期待と 子どもや保護者へのかかわり方」

◆会場 【新潟会場】 県立生涯学習推進センター
【長岡会場】 中之島文化センター

◆対象 市町村学校支援活動・放課後等支援活動(放課後子ども教室)関係者
家庭教育支援の教育活動推進員・教育活動サポーター・家庭教育推進員
ボランティア及び今後実施予定市町村関係者

◆定員 50名程度

◆申込締切 6月17日(金) 必着

◆問い合わせ

県立生涯学習推進センター 学習振興課 担当 末武
電話:025-284-6110

あなたも地域の身近な支援者に!!



スキルアップ講座



家庭教育支援者として目指すところは？ 他県の家庭教育支援の取組は？
 子どもの困難を解決するには家族への働きかけが大事!! でも、どんなふうに？
 そして、支援活動や講座運営に活かせるノウハウを学ぶことができる絶好の機会です!!
 ぜひ、一緒に学んでみませんか。

	新潟会場	五泉会場	研 修 内 容
第1回	9月27日(火)	9月29日(木)	◇家庭教育支援における 新潟県の方針と具体的な取組事例 県教育庁生涯学習推進課他 ◇喜多方市家庭教育支援チーム“もも”の取組について 喜多方市家庭教育支援チーム“もも”代表 幸田 久美子 様
第2回	10月20日(木)	10月18日(火)	◇家族療法から見る家庭教育支援 相談 room こころのほけんしつ 佐藤 真奈美 様
第3回	11月16日(水)	11月18日(金)	◇家庭教育支援に役立つ 「ファシリテーション力を身につけよう」 みらいず works 代表 小見 まいこ 様

※時間：10：00～16：00 定員：30名程度

会場 新潟：新潟県立生涯学習推進センター 五泉：五泉市総合会館

対象者：・家庭教育支援者養成研修会（サポート基本講座）受講者
 ・家庭教育担当行政職員・保育士・幼稚園、小中学校教員
 ・家庭教育支援施設職員・子育て支援に携わっている方

主催 新潟県教育委員会 共催 五泉市教育委員会

にいがた連携公開講座 2016



学びを楽しみ
社会に生かそう！



いきいき県民カレッジ登録講座

「にいがた連携公開講座」がめざすもの

多様化、高度化する県民の皆様の生涯学習のニーズに応えるため、県内の大学等と連携して良質かつ高度な学習機会を提供します。

講座	日時	会場	講座テーマ・講師
1	6月3日(金) 13:30~15:30	新潟市 西新潟市民会館	ストレス社会をしなやかに生きる心理学 新潟青陵大学大学院 教授 碓井 真史 様
2	6月11日(土) 13:30~15:30	十日町市 十日町情報館	当事者意識を高めよう！人権教育、同和教育 新潟産業大学 教授 秋山 正道 様
3	6月12日(日) 14:45~16:45	出雲崎町 出雲崎小学校	今、求められる家庭教育 新潟県立大学 教授 斎藤 裕 様
4	6月18日(土) 13:30~15:30	南魚沼市 大和公民館	公民館を地域の楽縁に！～生きがいづくりと コミュニティ～新潟経営大学 教授 中島 純 様
5	8月11日(木) 13:30~15:30	佐渡市 あいぽーと佐渡	ロコモティブシンドロームの予防～健康寿命をの ばす体操～新潟医療福祉大学 教授 小林 量作 様
6	9月4日(日) 13:30~15:30	刈羽村 生涯学習センターラピカ	生涯学習のススメ～自ら学び、地域に活かそう～ 新潟医療福祉大学 助教 佐藤 裕紀 様
7	9月27日(火) 10:00~12:00	小千谷市 小千谷市民会館	腰痛や体の痛みを解消！～最近の話題と運動 実践～新潟医療福祉大学 教授 佐藤成登志 様
8	10月28日(金) 13:30~15:45	新潟県立 生涯学習推進センター	明るく、楽しく、あきらめない生き方 ピアニスト 辻井伸行氏の母 辻井いつ子 様
9	11月19日(土) 13:30~15:30	妙高市 勤労者研修センター	いきいきとした社会を目指して～魅力あるまちづ くり、地域づくり～新潟大学 教授 松原 幸夫 様
10	11月26日(土) 13:30~15:30	燕市 中央公民館	異常気象のしくみ～今、地球で何が起きて いるのか？～新潟大学 教授 浮田 甚郎 様

高等教育
機関
21機関
(順不同)

新潟大学・長岡技術科学大学・上越教育大学・日本歯科大学新潟生命歯学部
新潟産業大学・敬和学園大学・新潟国際情報大学・新潟工科大学・長岡造形大学
長岡大学・新潟経営大学・新潟青陵大学・新潟医療福祉大学・新潟県立大学
新潟青陵大学短期大学部・新潟工業短期大学・明倫短期大学・新潟薬科大学
長岡工業高等専門学校・新潟リハビリテーション大学・新潟中央短期大学

受講料
無料！
直接会場へ
お越し下さい

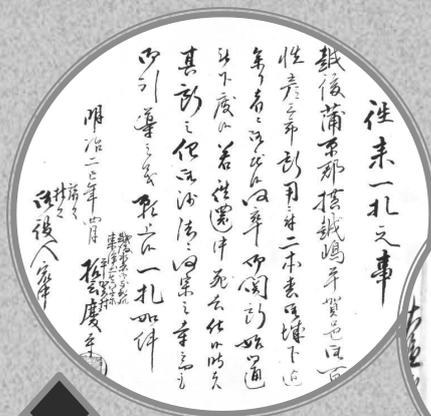
どの市町村の講座にも、
参加することができます。



主催：新潟県教育委員会
事務局：新潟県立生涯学習推進センター
住所 新潟市中央区女池南 3-1-2
TEL (025) 284-6110

新潟県立文書館主催

はじめての 古文書講座



定員 15名

《事前申込・先着順》
定員に達した場合は締め切らせていただきます。

受講料無料

但し資料代として100円が必要です。



いきいき県民カレッジ登録講座

講師 小竹 祥
(新潟県立文書館嘱託員)

日程

平成 28 年

4 月 14 ・ 21 ・ 28 日

木曜日開催 全 3 回

時間

13:30 ~ 15:30

(受付開始は 13:00 ~)

会場

新潟県立文書館 共同研修室 1・2 (1 階)

申込み方法は新潟県立文書館 (025-284-6011) までお問い合わせいただくか、もしくは別途配付チラシ裏面をご覧ください。

ふるさとの歴史再発見!

新潟県立文書館第2回教養講座

越後を駆け抜けた 鎌倉武士

小国一族の史実と伝承



- ◆期日◆ 平成 28 年
8月4日(木)
- ◆時間◆ 13:30~15:00 (受付 13:00~)
- ◆会場◆ 新潟県立文書館ホール
- ◆講師◆ 福田則男 (新潟県立文書館嘱託員)

上杉家家臣の小国氏の祖である小国頼継は、地頭として蒲原の一部を所領していました。彼は鎌倉の鶴岡八幡宮での弓始めの儀に射手に推挙され参列し、3代将軍源実朝から称賛されました。

講座では小国頼継の足跡を中心に、源頼政と菅蒲御前の伝承や中世の蒲原の歴史に光をあてていきます。

定員 180名
《事前申込・先着順》

入場無料

いきいき県民カレッジ登録講座 **新潟文化祭**

お申込み方法は別途配布のチラシをご覧ください。
県立文書館 (025-284-6011) にお問い合わせください。

新潟県立文書館 第2回歴史講座

庶民の学びを発見!

平成28年

11月26日(土)

13:30~15:30

(受付開始は 13:00 から)

やくわ ともひろ

講師 八鍬 友広 氏
(東北大学教授)

会場 新潟県立文書館ホール

※ホール内は温度調整が難しい場合があります。ご持参の衣類で調整をお願いします。



入場無料

定員 180名

《事前申し込みが必要です》



いきいき県民カレッジ登録講座

申込方法は、別途配布のチラシ裏面をご覧くださいか、
新潟県立文書館 (025 - 284 - 6011) へお問い合わせください。

近世越後における学びとともひろ

江戸時代の民衆と教育力

事業名	美術鑑賞講座		
目的	県民に美術の学習機会を提供する場として、展覧会や作品に関連した講座を開催する。		
実施主体	新潟県立近代美術館		
参加対象	一般	参加者数	124名（12月まで）
回数	7回	日数	7日
時間	各回約90分		
場所	新潟県立近代美術館 講堂		
内容			

	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月28日（土） 14:00～15:30	美術と労働	新潟県立近代美術館 臨時的任用職員 松本美樹
	内容・方法	美術の中で労働や庶民の生活はどのように取り扱われてきたのか。基本的な美術の流れも振り返りながら、労働を描いた作品について紹介。	
2	6月25日（土） 14:00～15:30	佐渡モッコ 中村木子の生涯と作品	新潟県立近代美術館 専門学芸員 松矢国憲
	内容・方法	戦後、書の革新運動盛んになりし時、柏崎の江口草玄らと共に墨人会を結成した一人に佐渡出身の中村木子がいた。しかし、道半ばで離脱せざるをえなかった彼の生涯と作品を紹介。	
3	7月23日（土） 14:00～15:30	印象派とジャポニスム	新潟県立近代美術館 学芸課長 藤田裕彦
	内容・方法	印象派の画家たちが日本の浮世絵に影響を受けたことは知られている。この浮世絵に印象派の画家が注目するようになったのは、日本の陶磁器がきっかけであった。日本美術がどのような流れで印象派の画家に影響を与えたのか紹介。	
4	9月24日（土） 14:00～15:30	ホイッスラーのヴェネツィア	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 平石昌子
	内容・方法	ホイッスラーが描いた都市の風景には現実の光景とは異なった、夢のような雰囲気漂っている。「ヴェネツィア展」出品作品を取り上げながら、その創造の秘密を紹介。	

	期日・時間	テーマ	講師等
5	10月22日(土) 14:00～15:30	新潟県立近代美術館 日本画の名品	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	本年度のコレクションでは、日本画の名品を重点的に展示したことから、当館所蔵の日本画の名品についてわかりやすく紹介。	
	期日・時間	テーマ	講師等
6	2月11日(土) 14:00～15:30	藤田嗣治と新潟	新潟県立万代島美術館 業務課長代理 澤田佳三 氏
	内容・方法	エコール・ド・パリを代表し、後年はフランスに帰化して日本に戻らなかった画家というイメージからは想像しづらい藤田嗣治と新潟との関わりについて繙く。	
	期日・時間	テーマ	講師等
7	2月18日(土) 14:00～15:30	肖像彫刻の達人 武石弘三郎	新潟県立近代美術館 主任学芸員 伊澤朋美
	内容・方法	明治から昭和にかけて活躍した長岡出身の彫塑家 武石弘三郎。軍人、政治家、博士など著名人を数多く手掛けた肖像彫刻の達人でもあった。弘三郎が制作した肖像彫刻の数々を、現存例を中心に紹介。	

成 果	・ 展覧会にあわせたテーマを設定し、展覧会をより深く鑑賞できるようにした。また、当館所蔵品への関心を高める講座も開設できた。
課 題	・ 広報等の工夫により、参加者をより一層増やす。
問合せ先	新潟県立近代美術館 学芸課 (担当：青木 善治) 電話：0258-28-4111

事業名	ワークショップ		
目的	展覧会や当館施設・作品と関連付けた活動により、体験を通して美術を楽しむ場とする。		
実施主体	新潟県立近代美術館		
参加対象	一般および小学生	参加者数	84名
回数	6回	日数	7日
場所	新潟県立近代美術館 講座室、企画展示室、コレクション展示室ほか		
内容			

	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月21日(土) 14:00~16:00	コンテを使って～癒やしの絵を描こう～	新潟県立近代美術館 副参事 宇賀田和雄
	内容・方法	展示作品を鑑賞した後、コンテパステルを実際に試し、他の描画材料との表現方法や雰囲気の違いを味わった。	
2	8月27日(土) 14:00~16:00	くっつけてつくろう～ホットボンドを使って～	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 青木善治
	内容・方法	ホットボンド(グルーガン)を使って、普通の糊やボンドではなかなかできない表現にチャレンジした。青木野枝氏の作品も参考にしながら、竹ひごなどをホットボンドを用いて、瞬時に接着することで思い思いのものを表す活動を実施した。※友の会との共催	
3	10月23日(日) 11:00~12:00	友の会ボランティアによる とっておきの美術館ツアー	新潟県立近代美術館 主任学芸員 伊澤朋美、学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	はじめて美術館を利用する方も、美術館には何度もきたことがある方も、美術館の楽しみ方が広がること間違いなしの、楽しいツアーを行った。ツアーを案内したボランティア5名は、昨年度も参加したメンバーであった。※友の会との共催	
4	10月1日(土) 14:00~16:00	オープン粘土でつくろう	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 青木善治

	内容・方法	オープン粘土の特性を説明し、事前に諸注意をしっかりと行った。オープン粘土（樹脂粘土）を使って、いろいろなものをつくり表し、陶芸用のオープン粘土も用意し、その違いを体感した。制作後は、110度で25分間焼成し、鑑賞活動後、持ち帰った。※友の会との共催		
5		期日・時間	テーマ	講師等
		①10月2日(日) 13:00～15:00 ②10月9日(日) 13:00～15:00	カーニヴァルマスクをつくろう	新潟県立近代美術館 副参事 宇賀田和雄
	内容・方法	ヴェネツィアのカーニヴァルの雰囲気意識して、いろいろな材料を使って、オリジナルのカーニヴァルマスクをつくる。ホットボンド（グルーガン）を接着剤としてだけでなく、描画材料としても活用した。		
6		期日・時間	テーマ	講師等
		12月3日(土) 14:00～16:00	らせんに編む～ストールをつくろう～	あみもの教室講師 中川アイ 氏
	内容・方法	編み物の基本を丁寧に説明後、その概要をわかりやすく説明。いものであった。糸を選んだ後、らせん状に編むことを繰り返し、短時間でもストールを制作。※友の会との共催		

成 果	<ul style="list-style-type: none"> 作品や施設について理解を深めるとともに、体験を通して美術を楽しむ場とできた。友の会との共催ワークショップも好評であった。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容によっては、各学校に働きかけるなど広報活動により一層力を入れていきたい。
問合せ先	新潟県立近代美術館 学芸課（担当：青木 善治） 電話：0258-28-4111

事業名	出前講座		
目的	当館学芸員等を講師として派遣し、美術館や作品にかかわる理解を深める。		
実施主体	新潟県立近代美術館		
参加対象	地域団体・機関・学校	参加者数	延べ697名
回数	21回(14日)	日数	各回1日
場所	地域団体・機関・学校・児童館		
内容	下記のとおり		

	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月6日(金) 9:45~10:35	「モネ 一生追いつづけたもの」 ※研究会单元の一環としての授業	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：新潟大学教育学部附属長岡中学校3年2組(41名) 内容：企画展「モネ展」の出品作品を取り上げ、〈光の画家〉モネの表現について学習	
2	6月7日(火) 11:10~12:40	「日本画の基礎知識」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：モンセラート美術大学の学生18名と引率者3名(於 新潟デザイン専門学校) 内容：アメリカの学生を対象に、伝統的な日本画の形式・素材・技法・特徴などを紹介	
3	6月10日(金) 9:35~10:20/10:40~11:25	「学芸員ってどんなお仕事でしょう」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：長岡市立上組小学校6年生1組37名+二組37名(計74名) 内容：学芸員の仕事の内容についてわかりやすく紹介するとともに、作品画像をみながら鑑賞の実践。	
4	6月24日(金) 13:15~14:15	美術館に行こう！	新潟県立近代美術館 主任学芸員 伊澤朋美
	内容・方法	対象：長岡市立高等総合支援学校3年生43名+職員・介助者15名(計58名) 内容：来館(「モネ展」開催時)を控え、事前学習として、所蔵品の画像による対話型鑑賞とモネ展の紹介をおこなう。	
5	6月24日(金) 14:00~14:45	「モネって知っている?~〇〇〇の画家~」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：見附市立上北谷小学校5年生14名・6年生7名(計21名) 内容：企画展「モネ展」の出品作品を取り上げ、〈光の画家〉モネの表現について学習	
6	6月28日(火) 8:40~/9:30~/10:35~/11:25~(4コマ各45分)	「モネって知っている?~〇〇〇の画家~」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：見附市立葛巻小学校5年生(1組26名+2組25名)・6年生(1組32名+2組32名)(計115名) 内容：企画展「モネ展」の出品作品を取り上げ、〈光の画家〉モネの表現について学習	
7	6月29日(水) 10:35~11:20	「モネって知っている?~〇〇〇の画家~」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子

	内容・方法	対象：長岡市立上小国小学校5年生11名+6年生8名（計19名） 内容：企画展「モネ展」の出品作品を取り上げ、〈光の画家〉モネの表現について学習	
8	期日・時間	テーマ	講師等
	6月29日(水) 13:00～	「モネって知っている？～○○○の画家～」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：長岡市立越路中学校美術部生徒31名+職員2名（計33名） 内容：企画展「モネ展」の出品作品を取り上げ、〈光の画家〉モネの表現について学習	
9	期日・時間	テーマ	講師等
	7月5日(火) 9:30～/10:35～（2コマ各45分）	「モネって知っている？～○○○の画家～」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：長岡市立和島小学校5年生37名+6年生32名（計69名） 内容：企画展「モネ展」の出品作品を取り上げ、〈光の画家〉モネの表現について学習	
10	期日・時間	テーマ	講師等
	7月6日(水) 9:40～/10:45～（2コマ各45分）	「モネって知っている？～○○○の画家～」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：長岡市立才津小学校5年生23名+6年生25名（計48名） 内容：企画展「モネ展」の出品作品を取り上げ、〈光の画家〉モネの表現について学習	
11	期日・時間	テーマ	講師等
	7月12日(火) 9:35～10:20	「モネって知っている？～○○○の画家～」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：長岡市立宮本小学校5年生11名+6年生11名（計22名） 内容：企画展「モネ展」の出品作品を取り上げ、〈光の画家〉モネの表現について学習	
12	期日・時間	テーマ	講師等
	7月13日(水) 10:35～11:20	「モネって知っている？～○○○の画家～」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：長岡市立浜海小学校5年生10名+6年生15名（計25名） 内容：企画展「モネ展」の出品作品を取り上げ、〈光の画家〉モネの表現について学習	
13	期日・時間	テーマ	講師等
	7月15日(金) 9:45～/10:45～（2コマ各50分）	「モネ 一生追いつづけたもの」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 宮下東子
	内容・方法	対象：新潟大学教育学部附属長岡中学校3年1組41名+3組40名（計81名） 内容：企画展「モネ展」の出品作品を取り上げ、〈光の画家〉モネの表現について学習	
14	期日・時間	テーマ	講師等
	8月23日(火) 13:30～15:30	「つなげて つなげて」	新潟県立近代美術館 学芸課長代理 青木善治
	内容・方法	対象：四郎丸児童館小学1～3年生70名 内容：当館収蔵作品等の作品を画像により鑑賞後、緩衝材をもちいて、造形表現活動を実施。	

成 果	・学校向けのプログラムを作り、夏休み前に実施することにより、子どもたちの関心を高め、夏休み中の家族での来館につなげることができた。また、公民館等の希望と学芸員の研究内容をつなげた講座の実施もできた。
課 題	・知名度の高い作家だけでなく、県出身など地域に関わりのある作家や作品にも関心を持ってもらえるような努力が必要。また、学校以外へのアプローチに課題がある。
問合せ先	新潟県立近代美術館 学芸課（担当：宮下東子） 電話：0258-28-4112

事業名	映画鑑賞会		
目的	展覧会と関連のある映像を上映し、美術と「ひと」との出会いを深める。		
実施主体	新潟県立近代美術館		
参加対象	一般	参加者数	185名（12月まで）
回数	7回	日数	6日
場内	新潟県立近代美術館 講堂		
場所	新潟県立近代美術館 講堂		
内容	新潟県立近代美術館 講堂		

	期日・時間	テーマ	受講者数
1	4月16日（土） 14:00	『プロフェッショナル仕事の流儀10 スタジオジブリ 鈴木敏夫の仕事』（2007年 82分）	18人
	内容・方法	盟友、宮崎駿とともに20年以上にわたって、メガヒットを生み出し続けてきたスタジオジブリプロデューサー鈴木敏夫。仕事をみんなで楽しむ“祭り”に変え、スタッフやタイアップ企業を巻き込んでいく鈴木の仕事の流儀をとことん追求する。（2006年4月6日放送分） ※「ジブリの大博覧会」関連企画	
2	9月3日（土） 14:00-	『オペラ座の怪人』（1925年 72分）	16人
	内容・方法	歌手のクリスティーヌは壁の中の声に指導を受け、主役へと上り詰める。しかし、声の正体は…。G・ルルーの原作を鮮やかに映像化した怪奇映画の最高傑作。（サイレント） ※企画展と企画展の間における集客のための企画	
3	10月8日（土） ①14:00- ②15:00-	『世界美の旅22ティツィアーノーヴェネツィアの巨匠ー』（1997年 30分）	47人
	内容・方法	ヴェネツィアの縦横に走る運河沿いに建つサンタ・マリア・ディ・フラリー教会に飾られたティツィアーノの「聖母被昇天」。エル・グレコを弟子に持ち比類なき技法を確立した画家の足跡と作品を探る。 ※「ヴェネツィア展」関連企画 ※短編映画のため、1日2回上映	
4	11月5日（土） 14:00-	『ツーリスト』（2010年 103分）	94人
	内容・方法	ハリウッドを代表するスター、ジョニー・デップとアンジェリーナ・ジョリーの初共演が実現したロマンチック・ミステリー。イタリアを訪れたアメリカ人旅行者が、知らないうちに巨大な事件に巻き込まれていく。ヴェニス美しい風景は必見。 ※「ヴェネツィア展」関連企画	

	期日・時間	テーマ	受講者数
5	12月10日(土) 14:00-	『花咲ける騎士道』(1952年 100分)	10人
	内容・方法	ジブシー娘に「軍人になれば、末は王女のお婿様」と予言されたファンファン。入隊した彼は王女と会うためにお城に忍び込む…。シンプルなストーリーとテンポのよい展開で、フランス剣戟映画の最高傑作とされる作品。 ※企画展と企画展の間における集客のための企画	
	期日・時間	テーマ	受講者数
6	2月4日(土) 14:00-	『どん底』(1936年 92分)	
	内容・方法	泥棒のベベルがある屋敷に忍び込むと主の男爵は自殺を凶ろうとしていた。男爵とベベルは意気投合するが…。巨匠ジャン・ルノワールが絶望と希望との交錯を描いた傑作。 ※企画展と企画展の間における集客のための企画	

成 果	<ul style="list-style-type: none"> 企画展と企画展の間の次期に行う映画鑑賞会と企画展（「ジブリの大博覧会」「ヴェネツィア展」）に合わせた映画鑑賞会の2本立てで実施した。「ヴェネツィア展」に合わせた2回の鑑賞会は、来場者も多く好評であった。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 予算を有効活用し、今後も展覧会とつながりのある内容の映画上映も企画する。
問合せ先	新潟県立近代美術館 学芸課（担当：宇賀田和雄） 電話：0258-28-4111

事業名	美術講演会		
目的	展覧会に親しみを持つとともに、その趣旨や展示作品への理解・興味を深める。		
実施主体	新潟県立近代美術館		
参加対象	一般	参加者数	延べ515名
回数	4回	日数	各回1日
場所	新潟県立近代美術館 講堂		
内容	下記のとおり		

	期日・時間	テーマ等	講師
1	6月4日(土) 14:00~15:30	企画展「モネ展」関連事業 オープニング記念講演会「モネの遺産」 内容：モネ展監修者が、マルモッタン・モネ美術館のモネ・コレクションの成り立ちや展覧会の見どころについて分かりやすく紹介 聴講者数165人	マルモッタン・モネ美術館副館長 マリアンヌ・マチュー氏
2	7月2日(土) 14:00~15:30	企画展「モネ展」関連企画 スペシャルトーク「世界でいちばん幸福な場所—ジヴェルニー訪問 モネの光を求めて—」 内容：『ジヴェルニーの食卓』など美術をめぐる小説で大人気の作家が独自の視点で語る 聴講者数188人（応募総数532人） ※新潟県立美術館友の会共催事業	作家 原田 マハ 氏
3	9月11日(日) 14:00~15:30	企画展「ヴェネツィア展」関連企画 記念講演会「ヴェネツィア・ルネサンスの絵画—特質と革新」 内容：ヴェネツィア展監修者が、展覧会開催の契機や当館との関わり、ヴェネツィア・ルネサンスの画家たちについて分かりやすく紹介 聴講者数81人 ※新潟県立美術館友の会共催事業	東京藝術大学美術学部教授 越川 倫明 氏
4	11月13日(日) 14:00~15:30	企画展「ヴェネツィア展」関連企画 記念講演会「イタリアとヴェネツィアの歴史と好奇心」 内容：イタリアとヴェネツィアについて、世界遺産、歴史、カーニバルなど様々な角度から語る 聴講者数81人	新潟イタリア協会会長 マリオ・ペルヴェルシ氏

成果	各企画展で、展覧会を深く知るためのものと親しみ深いもの硬軟二種の講演会をおこなうことで美術ファンだけでなく幅広い層の人を集め、展覧会の理解と周知を図ることができた。
課題	今後も様々な人からの関心を持てる講師及びテーマを設定していきたい。
問合せ先	新潟県立近代美術館 学芸課（担当：宮下 東子） 電話：0258-28-4112

事業名 [記念講演会]

目的 企画展「ピアズリーと日本」に関連した講演会

実施主体 新潟県立万代島美術館

参加対象 一般県民 **参加者数** 延べ73名

回数 _____ **日数** _____ **時間** _____

場所 NICOプラザ会議室（朱鷺メッセ内 万代島ビル11階）

内容

期日・時間		テーマ	講師等
1	5月28日(土) 14:00～15:00	ピアズリーの魅力を語る	摩夜 峰央(漫画家)
	内容・方法	企画展「ピアズリーと日本」に関連した講演会。担当学芸員が聞き手となって話を進行した。制作者ならではの独特の視点で、ピアズリーの作品について語った。講演会後にはサイン会も実施(15:30～16:15)。聴講無料、申込不要。参加者は50名。	
期日・時間		テーマ	講師等
2	5月14日(土) 14:00～15:40	衝撃のサロメ	河村 錠一郎(一橋大学大学院言語社会研究科名誉教授)
	内容・方法	企画展「ピアズリーと日本」に関連した講演会。パワーポイントに加えてDVD映像で映画とオペラを上映した。ピアズリーがワイルドのサロメ像に与えた影響などについて語った。聴講無料、申込不要。参加者は23名。	
期日・時間		テーマ	講師等
3			
	内容・方法		

成果

課題

問合せ先 新潟県立万代島美術館(担当：今井 依里) TEL:025-290-6655

事業名 [美術鑑賞講座]

目的 芸術鑑賞に関する基本的な理解、専門的な知識を身につける。

実施主体 新潟県立万代島美術館

参加対象 一般県民 **参加者数** 延べ46名

回数 _____ **日数** _____ **時間** _____

場所 NICOプラザ会議室（朱鷺メッセ内 万代島ビル11階）

内容

期日・時間		テーマ	講師等
1	12月4日(日) 12:00～15:40	相澤コレクションの難波田龍起・史男	長嶋 圭哉(万代島美術館主任学芸員)
	内容・方法	所蔵品展「美術家の青春」に関連した講座。32歳で事故死した夭折の画家・難波田史男と「相澤コレクション」のもう一つの核をなした父・龍起の作品を合わせて紹介した。聴講無料、事前申込不要。参加者は14名。	
期日・時間		テーマ	講師等
2	11月27日(日) 14:00～15:10	横山操と加山又造一戦後日本画の青春時代	池田 珠緒(万代島美術館主任学芸員)
	内容・方法	所蔵品展「美術家の青春」に関連した講座。戦後、日本画が大きな方向転換を迫られた時期に活躍した横山操と加山又造。その仕事を改めて見直し、二人に影響を受けた現代の作家についても紹介した。聴講無料、事前申込不要。参加者は21名。	
期日・時間		テーマ	講師等
3	10月30日(日) 14:00～15:35	青春時代のデューラー	桐原 浩(万代島美術館業務課長)
	内容・方法	所蔵品展「美術家の青春」に関連した講座。出品作家デューラーについて、より身近に感じてもらえるよう、家族や環境などの背景について説明し、10～20代の具体的な作例を紹介した。聴講無料、事前申込不要。参加者は11名。	

成果

課題

問合せ先 新潟県立万代島美術館(担当：今井 依里) TEL:025-290-6655



講座・講演会情報（4～6月）

春季企画展「おふだにねがいを ～ 呪符 ふふふ ～」

おふだの知られざる世界が見えるかも?!



おふだトーク

「モーゲーおふだの未知なるパワー ～恋愛だけには効きません～」

5月8日（日）13:30～15:00

ゲスト：遠藤 麻理 さん

（FM PORT、モーニングゲートナビゲーター）

聞き手：浅井勝利

会場：当館講堂 定員：150名（要申し込み）

内容：FM PORTの朝の番組「モーニングゲート」のナビゲーター遠藤麻理さんをお迎えして、番組で話題の“おふだ”についてのあれやこれやをお聞きします。

講座・講演会と併せてご覧になれば、もっとおもしろい。

春季企画展・観覧料

一般 720円（570円）高校大学生 500円（400円）中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

ミニシンポジウム

「境界のまじない」

5月14日（土）13:30～16:00

講師：高野 晶文 氏（三条市生涯学習課）
板橋 春夫

コーディネーター：三国 信一

会場：当館講堂 定員：150名（要申し込み）

内容：本シンポジウム「境界のまじない」では、高野晶文氏「三条市周辺の境界のまじない」と板橋春夫「道切り・結界と生活世界」の二人がそれぞれ講演をします。それをもとに講演者とコーディネーターが境界・結界・まじないなどのキーワードについて議論を深める予定です。

講演会

「まじないと文字が出会うとき」

5月22日（日）13:30～15:00

講師：小池 淳一 氏（国立歴史民俗博物館 教授）
会場：当館講堂 定員：150名（要申し込み）

内容：まじない、というどのようなイメージを持たれるのでしょうか。容易に理解できない謎めいたもの、ということになるのでしょうか。それに怪しげな、という形容詞も加わるかもしれません。それはひそやかに伝えられるもののようにも思われますが、実際はどうなのでしょう。そうした疑問をもとに文字文化との関係を軸として、まじないをとらえ直します。

おんたけさんのお札「急々如律令蚕守」（個人蔵）

当館研究員による春季企画展関連講座

開催日	開催時刻	講座名	講師	会場	定員
5月7日（土）	13:30～15:00	おふだと呪物崇拝	三国 信一	当館研修室	50名
5月21日（土）	13:30～15:00	呪いの古代史	浅井 勝利	当館研修室	50名
5月28日（土）	13:30～15:00	おふだと人形	大楽 和正	当館研修室	50名

シリーズ「子ども」連続講座（全4回）

第1回 こどもの日は男の子の祝日？

4月30日（土）13:30～15:00

講師：板橋 春夫

会場：当館研修室 定員：50名（要申し込み）

内容：5月5日の「こどもの日」は1948年に制定された祝日です。この日は鯉のぼりをあげるなど男の子の祭りとしてされています。一方、女の子には3月3日のひな祭りがあります。5月5日はそもそもどのような日であったのか疑問がわいてきます。本講座では、こどもの日の制定過程を踏まえながら、5月5日の意義について論ずる予定です。



国際博物館の日記念講座

教育の場としての博物館を考える

5月15日（日）13:30～15:00

講師：山本 哲也

会場：当館講堂 定員：150名（要申し込み）

内容：社会教育施設として認識される博物館ですが、そこで行われるべき多様な「教育」について考えます。（国際博物館会議＝ICOMが、5月18日を「国際博物館の日」と制定し、日本国内においても各地で記念行事などが行われています。）



古文書に興味がある初心者の方歓迎

古文書講座 ～はじめての古文書～ 前編・後編

6月11日、18日（土）13:30～15:00

講師：井上 信

会場：当館研修室 定員：35名（要申し込み）

内容：平仮名を中心に古文書に親しみます。古文書に全くふれたことがない人でも気軽に学べる講座です。

普段は見られない博物館の裏側をこの機会に

民俗収蔵庫見学会

6月25日（土）13:30～15:00

講師：陳 玲

会場：当館研修室、館内施設 定員：15名（要申し込み）

内容：博物館の裏舞台の一つである民俗収蔵庫をご案内いたします。学芸員によって収集、整理され、民俗資料となった生活道具が、新たな姿で新しい発見を提供してくれます。見学会を通して民俗資料の基本的な見方を紹介します。



◆申込み

電話・FAX・メール・葉書のいずれかにて、氏名・電話番号・住所を下記までご連絡ください。

◆問合せ

〒940-2035

新潟県立歴史博物館 経営企画課

TEL：0258-47-6135 FAX：0258-47-6136

メール：koryu@nbz.or.jp





講座・講演会情報 (7～9月)



夏季企画展「お菓子と新潟」

新潟県内のお菓子文化の歴史を紐解く

講演会

「和菓子の魅力」

8月21日(日) 13:30～15:00

講師：中山 圭子 氏

(株式会社虎屋 取締役 虎屋文庫専門職)

会場：当館講堂 定員：150名(要申し込み)

内容：食べて美味しいだけでなく、和菓子には日本文化を再発見させてくれるような魅力があります。和菓子の歴史を紐解くとともに、色かたちの美しさや名前の由来、年中行事との関わりなどをご紹介します。

講座・講演会と併せて企画展をご覧になれば、もっとおもしろい。

夏季企画展・観覧料

一般 610円(480円) 高校大学生 400円(320円)

中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

企画展「お菓子と新潟」会期中、歴史博物館に入場された方に、1人1個無料でお菓子を差し上げます。(1日300個限定。なくなり次第終了します。)

夏季企画展・入門講座

「お菓子と新潟

～江戸時代を中心に～

7月23日(土) 13:30～15:00

講師：渡部 浩二(当館専門研究員)

会場：当館研修室 定員：50名(要申し込み)

内容：企画展「お菓子と新潟」の展示内容を知る講座。企画展担当の渡部が、今回の企画展示の見どころや歴史的な背景について紹介します。特に江戸時代の展示コーナーについて詳しく解説します。

話の前に展示を見て、聴いてから再び展示を見れば、理解が深まることでしょう。

シンポジウム

(会場は新潟市内になります)

「新潟の菓子文化を楽しむ」

7月27日(水) 13:30～16:00

会場：新潟日報メディアシップ 日報ホール
(新潟市中央区万代3-1-1)

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

定員：180名(要申し込み)

内容：講演①「新潟の縁起菓子」

講師：溝口 政子さん(菓子文化研究家)

講演②「世界に広がる占い菓子の魅力」

講師：中町 泰子さん(創価大学非常勤講師)

討論

パネリスト：溝口 政子さん、中町 泰子さん
岸 洋助さん(新潟県和菓子協会
会長・越乃雪本舗大和屋社長)

コーディネーター：板橋 春夫

※申込先は、歴史博物館になります。(裏面参照)

シリーズ「子ども」連続講座（全4回）

第2回 縄文時代の子ども

7月9日（土）13:30～15:00

講師：宮尾 亨（当館専門研究員）

会場：当館研修室 定員：50名（要申し込み）

内容：定住的なムラを形成した縄文時代に子どもと大人の区別があったのか？
その可能性を人生の通過儀礼にかかわる可能性のある遺物から探ります。

シリーズ講座ですが、
1回だけ聴いても、楽しんでいただけますよ。



親子で楽しみ、夏休みの宝物に！

作ってみよう「本格まが玉」夏の部

7月30日（土）13:30～15:00

講師：山本 哲也（当館専門研究員）

会場：当館研修室 定員：30名・親子（要申し込み）

内容：一般に体験用として使う滑石（かっせき＝硬度1）ではなく、やや硬い石材（硬度3）を使い、また、昔の製作技法も一部取り入れながら、ちょっとだけ本格的なまが玉作りを体験します。なお、「保護者と小学生以下の組み合わせ」で複数名での参加を原則とします。当館売店にて販売する「青田石（せいでんせき）」を購入してから参加して下さい。（当館ミュージアムショップにて300円で販売予定）



昔、新潟はどう見られていたのか？

明治の新潟を旅した西洋人

9月3日（土）13:30～15:00

講師：西田 泰民（当館学芸課長）

会場：当館研修室 定員：50名（要申し込み）

内容：明治前期の新潟を旅した西洋人が残した旅行記や英文ガイドブックから19世紀の新潟県内の情景や人々の暮らし、クールにいがたを探ります。



古代オリエントの美術とは？

秋季企画展 関連講演会「古代美術の愉しみ」

9月18日（日）13:30～15:00

講師：稲垣 肇 氏（MIHO MUSEUM 学芸員）

会場：当館講堂 定員：150名（要申し込み）

内容：秋季企画展「古代オリエント美術の愉しみ -MIHO MUSEUM コレクション・エジプトから中国まで-」の開催を記念して、MIHO MUSEUM の学芸員・稲垣 肇氏に、古代美術の魅力をご紹介します。

古代オリエントの美術品
を新潟県内で見ることが
できるチャンスです！！

◆申込み

電話・FAX・メール・葉書のいずれかにて、
氏名・電話番号・住所を下記までご連絡
ください。

◆問合せ

〒940-2035

長岡市関原町1丁目字権現堂 2247番2

新潟県立歴史博物館 経営企画課

TEL: 0258-47-6135 FAX: 0258-47-6136

メール: koryu@nbz.or.jp





新潟県立歴史博物館 平成 28 年度

《参加費無料》

講座・講演会情報（9～12月）



秋季企画展「古代オリエント美術の愉しみ」
65点の美術品を鑑賞する視点をご紹介します

講演会

「古代美術の愉しみ」

9月18日（日）13:30～15:00

講師：稲垣 肇 氏

（MIHO MUSEUM 学芸員）

会場：当館講堂 定員：150名（要申し込み）

内容：秋季企画展「古代オリエント美術の愉しみ -MIHO MUSEUM コレクション・エジプトから中国まで-」の開催を記念して、MIHO MUSEUM の学芸員・稲垣 肇氏に、古代美術の魅力をご紹介します。

講座・講演会と併せて企画展をご覧になれば、もっとおもしろい。

秋季企画展・観覧料

一般 820円（650円）高校大学生 500円（400円）中学生以下無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金

特別講演会

「中世越後の政治と文化

-中世弥彦山の社会勢力-

10月2日（日）13:30～15:00

講師：山本 隆志 氏

（筑波大学名誉教授）

会場：当館講堂

定員：150名（要申し込み）

内容：平安時代後期から戦国時代までの武士・寺院・荘園の関係などを中心に研究してこられた山本隆志氏（筑波大学名誉教授）に、弥彦山の社会勢力を中心に、中世越後の政治・文化の諸相についてご講演いただきます。

当館学芸課長の
最近の研究をご紹介します！

原始古代の酒を探る

12月10日（土） 13:30～15:00

講師：西田 泰民

（当館学芸課長）

会場：当館研修室

定員：50名（要申し込み）



内容：平城京では酒作りを担当した役所の遺跡が見つっていますが、それ以前の酒については、魏志倭人伝に記載があるものの、直接の証拠はまだ発見されていません。酒に結びつく可能性のある遺物について考えます。

シリーズ「子ども」連続講座（全4回）

第3回 江戸時代の子ども

10月1日（土）13:30～15:00

講師：渡部 浩二（当館専門研究員）

会場：当館研修室 定員：50名（要申し込み）

内容：桑名藩領柏崎陣屋に勤務した下級武士の『柏崎日記』から江戸時代後期に生きた子どもの様子を探ります。



第4回 年中行事と子ども

12月17日（土）13:30～15:00

講師：三国 信一（当館主任研究員）

会場：当館研修室 定員：50名（要申し込み）

内容：年中行事の中には、子どもが重要な役割を果たすものがあります。

県内の事例を中心に紹介し、年中行事における子どもの位置付けについて考えます。



文化の秋、古文書を読んでみませんか？

古文書講座 ～古文書のツボ～（全4回）

10月8、15、22、29日（土）13:30～15:00

講師：田邊 幹（当館主任研究員）

会場：当館研修室 定員：35名（要申し込み）

内容：「安禅寺御用記」等地域の古文書をテキストにして、くずし字の読み方、内容の考えかたのツボを学びます。



古文書講座 ～江戸時代を探る～（前編・後編）

11月5、12日（土）13:30～15:00

講師：渡部 浩二（当館専門研究員）

会場：当館研修室 定員：35名（要申し込み）

内容：企画展「お菓子と新潟」に関連して、江戸時代の越後国の飴売りに関係する古文書をテキストにし、新潟県の菓子文化の一端を探ります。



古文書講座 ～越後文書宝翰集を読み解く～（前編・後編）

11月19、26日（土）13:30～15:00

講師：前嶋 敏（当館専門研究員）

会場：当館研修室 定員：35名（要申し込み）

内容：「越後文書宝翰集」のうちの古文書をテキストにして、中世越後の様相を探ります。



※「古文書のツボ」は、古文書の読み方の基礎的な部分についての講義を行います。昨年度聴講された方でも今年度新しくなっている部分もありますので、お気軽にお申し込みください。

「江戸時代を探る」「越後文書宝翰集を読み解く」は、古文書の読み方よりも、古文書として取り扱う題材の内容についてより深く読み込んでいただく内容となります。

◆申込み

電話・FAX・メール・葉書のいずれかにて、氏名・電話番号・住所を下記までご連絡ください。

◆問合せ

〒940-2035

長岡市関原町1丁目字権現堂 2247番2

新潟県立歴史博物館 経営企画課

TEL：0258-47-6135 FAX：0258-47-6136

メール：koryu@nbz.or.jp



新潟県立図書館 第25回ふるさと講座

誰でもできる掛軸の取扱い ～保存と鑑賞のポイント

県立図書館が所蔵する掛軸を使って、その取扱い・保存方法を解説する講座で、各講座の後半に①では書跡、②では絵画を取り上げ、作品としての鑑賞のポイントにも触れます。



①書跡編取扱作品
漢詩

たちりゅうわん
館 柳 湾 / 書

新潟町出身
巻町の人



②絵画編取扱作品
草蘆三顧図

ほんますいほう
本間翠峰 / 画

蒲原郡
樋曾根村生まれ

平成28年

① 7月6日(水)
(書跡編)

② 7月20日(水)
(絵画編)

13:30～15:00
(開場13:00～)

講師：本井晴信氏

(元新潟県立文書館副館長)

会場：新潟県立図書館
大研修室(2階)

お申込みが必要です。
定員30名(先着順)
入場無料

申込み方法は、裏面をご覧ください。



いきいき県民カレッジ登録講座

新潟県立図書館 第26回ふるさと講座

地図から読み解く新潟の近代化

～地形図・地質図の楽しみ方～

県立図書館が所蔵する地図・地質図から、明治以降の新潟の近代化を読み解き、地形図・地質図の楽しみ方を紹介します。

第1回

地図から探る新潟市の変遷

平成**28**年**9**月**30**日（金）

13:30～15:00

（開場13:00）

江戸時代の港町から、近代的な港湾都市へと変化していく新潟市のすがたを、明治・大正・昭和初期の4枚の地図からたどります。



新潟市全図（大正7年）

第2回

地質図から見る新潟の大地

平成**28**年**10**月**14**日（金）

13:30～15:00

（開場13:00）

色鮮やかな大正時代の地質図と、明治時代の大きな油田地図を用いて、新潟県の地理的特色である石油の採掘や新潟の地質について探ります。



新潟図幅（大正6年）

講師：**本井 晴信** 氏（元県立文書館副館長）

会場：新潟県立図書館大研修室（2階）

定員：各回**40**名（申込み必要・先着順）

入場無料

※ 申込方法は、裏面をご覧ください。



いきいき県民カレッジ登録講座



各プログラムの体験に加え、活動計画の立案（プログラムデザイン）など、教育現場や家族キャンプなどで活躍するノウハウがいっぱいです！

魅力ある 5つの プログラム 体験

【プログラム1】

満天の星空観測

6/10 19:00～21:00

6/11 19:00～21:00

「早く星空を見たい。」というはやる気持ちを抑えながら、最初に天体望遠鏡を使用した観察方法等について研修し、いざ、満天の星空の元へ。

太古から美しい光を放ち続ける数々の鮮やかな星を眺めながら代表的な星座等を中心に研修を進めます。

【プログラム2】

源流探検プログラム①

(小学校高学年指導者向け)

6/11 10:00～14:00

施設内にある沢を上り、源流を探検したり雑木林やスギ林などの森林学習歩道を歩いたりします。

「川の始まりはどうなっているのか？」「源流にはどんな生き物がいるのか？」という好奇心や冒険心を掻き立てるプログラムで、絶え間なく流れ、人間に豊かな恵みを与えてくれる川の素晴らしさを学びます。

【プログラム3】

源流探検プログラム②

(幼児・小学校低学年指導者向け)

6/11 10:00～14:00

施設内にある沢を上り、源流を探検したり雑木林やスギ林などの森林学習歩道を歩いたりします。

子どもたちに、「冷たく透き通った水や森林の匂いを体感させたい。」「沢ガニやイワナなどを見せてあげたい。」と思わず思ってしまうような自然の神秘と魅力に溢れたプログラムです。

【プログラム4】

森から学ぶ森の中での体験活動①

「秘密基地づくり」(小学校高学年指導者向け)

6/12 10:00～14:00

自然の家周辺の森林を生かした自然体験活動の指導法を体験します。さらに、妙高の自然を題材とした教育活動のあり方や自然を題材とした活動において指導者が大切にすべきことなどを制作活動や観察、体験をもとに学びます。

【プログラム5】

森から学ぶ森の中での体験活動②

(幼児・小学校低学年指導者向け)

6/12 10:00～14:00

自然の家周辺の森林を生かした自然体験活動の指導法を体験します。妙高の自然を題材として、幼児期ならではの感性を生かしたり、子どもたちの好奇心を掻き立たせたりするなど、想像力を大きく膨らませる教育活動について、歩きながら触れながら学びます。

6/11 14:30～16:30 6/12 14:30～16:30 【プログラムデザイン】

妙高ネイチャープログラムは33種類の活動プログラムがあり、指導者は観察者の願いや生活経験、既習内容に加え、観察するフィールドの特性や季節等を踏まえた上で、複数の活動プログラムを組み合わせ、より魅力的な活動計画を構築する必要があります。その展開計画をプログラムデザインといい、指導者の腕の見せ所でもあります。実際の研修を生かして、プログラムの立案を行います。



部分参加の方にも参加された講座に関する修了証を発行します。部分参加もぜひご検討下さい。

上越市教育コラボ2016 学び愛フェスタ

「学級活動・学級経営」研修会



「よりよい人間関係や学力向上の基盤をつくる特別活動」

～望ましい集団活動を生かす学校力・教師力～

問題を抱える学校の挑戦！！

特別活動を重視した取組により生徒指導を充実し、大幅な学力向上を果たした実践事例の紹介

そのためには、何を実践すればいいのか。丁寧に教えていただきます！！

〔日 時〕 平成28年11月19日(土) 10:00~12:00

〔会 場〕 上越市立春日中学校

自家用車は 春日中学校駐車場・上越地域総合健康管理センター第2駐車場へ

〔対 象〕 学校教職員、教育委員会関係者、大学生、保護者をはじめ教育に関心のある皆様方

〔定 員〕 300名

〔講 師〕 元文部科学省初等中等教育局 視学官 宮川八岐氏

北海道生まれ埼玉県在住

埼玉県公立小学校教諭・教頭・草加市教育委員会学務課課長補佐・草加市立小学校校長

文部省初等中等教育局 教科調査官 同局 視学官

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家 所長

日本体育大学 教授 ・ 國學院大學 教授

現職 城西国際大学非常勤講師

専門分野 特別活動、生徒指導、体験活動、学校・学級経営、教職論

〔主 催〕 上越市教育コラボ2016 学び愛フェスタ実行委員会

〔企 画〕 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

〔日 程〕 受付：9:30～ 開会：10:00～ 終了：12:00

〔参加費〕 無料

〔持参品〕 内履き・屋内ですが、防寒の支度をお持ちいただくと快適です。

〔申 込〕 11月16日(水) までに下記「参加申込書」のFAXが、QRコードからの申し込みサイトにてお申し込み下さい。
当日のご参加も可能です。



申し込み用 QR コード

〔お問合せ〕 国立妙高青少年自然の家 〒949-2235 妙高市大字関山6323-2

TEL0255-82-4321 FAX0255-82-4325 (担当) 水澤 勝宏

※※※※※ 国立妙高青少年自然の家 宛 FAX 番号 0255-82-4325 このまま送信下さい ※※※※※

11月19日 上越市教育コラボ2016「学級活動・学級経営」研修会 参加申込書

参加者氏名 (複数名ご記入可能です。是非お誘い合わせの上ご参加下さい。)	所属 (学校・職場など)

ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務及び当自然の家主催の事業案内の送付のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。本事業中に撮影した画像・動画・制作物・感想文等を当自然の家・国立青少年教育振興機構・関係教育機関等の事業報告書・広報物・インターネット媒体(ホームページ・facebook等)へ使用する事がありますので、ご了承ください。